

参考資料

性に関する教育  
かけがえのない大切な命



宮崎県教育委員会

平成24年3月

# 目 次

四角囲みをクリックするとリンク先のページが表示されます。

## 第1章 総論

1	「性に関する教育」とは	1
2	宮崎県が「性に関する教育」で目指す子どもたちの姿	2
3	宮崎県における「性に関する教育」の内容	3
4	集団指導と個別指導	4
5	「性に関する教育」を推進するための体制づくり	5
6	家庭、地域、関係機関との連携	7
7	各教職員の役割	8

## 第2章 参考資料

1	児童生徒の発達段階に応じた指導計画例	11
	* 本事例集に指導事例として紹介してあるものは指導計画例に★印で示されています。	
2	小学校編	
	てをあらおう	13
	からだをきれいに	14
	おとこのこ おんなのこ	17
	みんななかよし	20
	さそいにのらない	21
	わたしのたんじょう	23
	テレビ・ゲームとわたしたち	25
	命のつながり	27
	命を守る(性被害から身を守る)	29
	男女なかよく	32
	命のはじまり	34
	初経(月経)ってなあに?	37
	射精のしくみと対応	38
	生命の連続とわたしたち	39
	私たちをとりまく性情報	42
	家族の一員として	44
	偏見と差別	47
3	中学校編	
	出会い系サイトの背後に潜むもの	49
	自分らしさ	53
	大人への第一歩	54
	男女のかかわり(男女の人間関係)	56
	男女の特性と協力	59
4	高等学校編	
	男女の意識と行動	63
	男女の人間関係と自分の気持ちを伝えること	65
	性感染症と私たち～WYSH教育より～	68
	デートDV～WYSH教育より～	79
5	特別支援学校編	
	異性とののぞましい関わり方	83
	好きな人ができたら	85

## 第3章 巻末資料

1	「性に関する教育」を効果的に進めるためのQ&A	87
2	学習指導要領における性に関する教育の関連内容	89
3	主な性感染症	94
4	相談窓口一覧	95
*	「性に関する教育」参考資料編集委員	99
*	引用 参考文献	100

# 目 次

## 第1章 総論

1	「性に関する教育」とは	1
2	宮崎県が「性に関する教育」で目指す子どもたちの姿	2
3	宮崎県における「性に関する教育」の内容	3
4	集団指導と個別指導	4
5	「性に関する教育」を推進するための体制づくり	5
6	家庭、地域、関係機関との連携	7
7	各教職員の役割	8

## 第2章 参考資料

1	児童生徒の発達段階に応じた指導計画例	11
* 本事例集に指導事例として紹介してあるものは指導計画例に★印で示されています。		
2	小学校編	
	てをあらおう	13
	からだをきれいに	14
	おとこのこ おんなのこ	17
	みんななかよし	20
	さそいにのらない	21
	わたしのたんじょう	23
	テレビ・ゲームとわたしたち	25
	命のつながり	27
	命を守る(性被害から身を守る)	29
	男女なかよく	32
	命のはじまり	34
	初経(月経)ってなあに?	37
	射精のしくみと対応	38
	生命の連続とわたしたち	39
	私たちをとりまく性情報	42
	家族の一員として	44
	偏見と差別	47
3	中学校編	
	出会い系サイトの背後に潜むもの	49
	自分らしさ	53
	大人への第一歩	54
	男女のかかわり(男女の人間関係)	56
	男女の特性と協力	59
4	高等学校編	
	男女の意識と行動	63
	男女の人間関係と自分の気持ちを伝えること	65
	性感染症と私たち～WYSH教育より～	68
	デートDV～WYSH教育より～	79
5	特別支援学校編	
	異性とののぞましい関わり方	83
	好きな人ができたら	85

## 第3章 巻末資料

1	「性に関する教育」を効果的に進めるためのQ&A	87
2	学習指導要領における性に関する教育の関連内容	89
3	主な性感染症	94
4	相談窓口一覧	95
*	「性に関する教育」参考資料編集委員	99
*	引用 参考文献	100

# 1 「性に関する教育」とは

「性に関する教育」とは、「生命の尊さ」を基盤とした教育であり

「生き方に関する教育」（生教育）でもあります。

そのために、『ひとりひとりが大切な存在である』というメッセージを

子どもたちに伝え続けていくことが大切です。

本県においては、「性に関する教育」を通して、

次のような子どもを育てていくことを目指します。

- 性に関する知識を正しく理解する子ども
- 自己や他者の命を大切にする子ども
- 必要なライフスキルを身に付ける子ども

\* ライフスキル～日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力（WHO）

国際化、情報化等の社会の変化が急速に進む中、私たちの生活様式や価値観も多様化し、子どもの心身の発達や健康にも大きな影響を及ぼしています。

また、性に関しては、有害な情報が街に溢れ、出会い系サイト等をきっかけとしたトラブル、10代の人工妊娠中絶、若年層における性感染症の増加等が深刻な問題となっています。

これまで学校において行われてきた「性に関する教育」については、例えば性器等の名称や性行為等を子どもたちの成長の実態に沿うことなく、単なる知識としてごく早い時期から教え込んだり、問題行動等が生じた場合を想定した対処療法的な指導等、いわゆる「狭義の性教育」に偏っていたのではないかとの指摘もみられます。

こうした状況から、私たちは、学校において行うべき「性に関する教育」の在り方について、科学的知識を身に付けることはもとより、生命尊重、人権尊重の観点から改めて見つめ直し、子どもたちを取り巻く社会環境や子どもたち個々の発達の段階及び受容能力に応じた指導内容、手立て等について検討しながら実践化を図る必要があると考えます。

そのためには、性に関する具体的な内容や知識をただ習得させるだけではなく、性に関する望ましい価値観や適切な情報を取捨選択できる判断力を身に付けこれからどう生きていくかを自己決定できる子どもたちを育てる教育が重要となってきます。



〔性に関する教育の考え方〕

（概念図は平成23年度 学校保健の動向より）

## 2 宮崎県が「性に関する教育」で目指す子どもたちの姿

### ○ 性に関する知識を正しく理解する子ども

「性に関する教育」は、「生命の尊さ」を基盤として行われるべきものです。

このことから、自他の生命の尊さや連続性、男女の違いや特性、互いの人格の尊重、思春期に生じる体と心の大きな変化や個人差に関する事等、生命に関する科学的知識を習得させることはとても大切です。また、性被害や性感染症等の危険（リスク）を回避する上でも、これらに関する正しい知識を、子どもたちの発達の段階を踏まえて適切に伝えていくことは極めて重要です。

性に関する知識を正しく理解することのできる子どもを育てましょう。

### ○ 自己や他者の命を大切にすることのできる子ども

子どもたちは、「命があること」や「生きている」という日常を当たり前のように思いがちですが、生や死の意味について真剣に考えさせ、命の大切さや生きる喜びを実感させることは大切なことです。

「あなたが生まれてきてくれてよかった」と心の底から思ってくれる人がいることを実感できたとき、子どもたちは自分の命だけではなく、他者を含めたすべての命の大切さに気付きます。

生涯にわたって豊かな人生を送るためには、健康の大切さを認識するとともに、子どもたちが自分自身を価値ある存在と認め、自分を大切に思うことのできる自尊感情を育むことが重要です。

子どもたちに自らの存在感を感じさせ、生命や人格の尊重、男女平等の精神の下、望ましい人間関係を築くことができる資質や能力を育て、自己や他者の命を大切にすることのできる子どもを育てましょう。

### ○ 必要なライフスキルを身に付ける子ども

生活環境の急激な変化に伴い、社会の状況を正しくとらえたり、情報等に適切に対処しながらリスクを回避したりするとともに、よりよい家庭や社会づくりに向けて責任ある行動を実践できる資質や能力を育てることが重要です。

ライフスキルとは、日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力のことです。

具体的には、良好な人間関係を構築するための対人関係スキルや様々な問題に建設的に対処する問題解決スキル、その他いくつかに分類されますが、これらの必要なライフスキルを身に付け、人生をよりよく生き抜くことのできる子どもたちを育てましょう。

### 3 宮崎県における「性に関する教育」の内容



#### ◇ 性に関する知識を正しく理解する子ども

… 科学的知識の習得

- 生命の尊重
  - 生命の誕生のしくみや神秘
  - 自他の生命及び生きることの尊さ
  - 生命の連続性【祖先から自分そして子孫へと受け継がれていく命や遺伝子】
- 異性の尊重
  - 男女や個人によって違う心身の発育や発達、行動様式、物事に対する感じ方、考え方
  - 互いの人格の尊重を基盤とした男女の在り方
  - 共に生きることのすばらしさ
- 思春期の体の変化
  - 健やかな成長に大切な体や衣服などの清潔
  - 小学生の時期の体つきに現れる男女の特徴【男子はがっしり、女子は丸み】
  - 中学生から高校生の時期に顕著になる男女の身体的な特徴
  - 大人の体に近づく現象として、個人差はあるがだれにでも起こる思春期の体の変化
- 思春期の心の変化
  - 自然な成長の姿として思春期に芽生え、高まる、異性への関心
  - 身体的な成熟に伴って生じる性衝動など、異性に対する心理面の顕著な変化
  - 心が発達することによってととのう、感情をコントロールしたり、相手の気持ちを理解したりする力
  - 誰でも経験する不安や悩みと、自分に合ったいろいろな対処方法
- 生殖にかかわる機能の成熟
  - 下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより、生殖器の発育とともに発達する生殖機能  
【小：初経や精通、変声、発毛が起こること、中：射精や月経が見られ、妊娠が可能となること】
- エイズや性感染症などの予防
  - エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路
  - エイズの病原体の特徴【ヒト免疫不全ウイルス（HIV）】と主な感染経路【性的接触】
  - 社会問題となっているエイズ及び性感染症の増加傾向とその低年齢化
  - エイズの予防に有効な手立て  
【感染リスクの高い性的接触を避けることやコンドームの使用（感染の危険性をなくすこと）】
  - 地域で行われている様々な保健活動や、エイズ、性感染症、性に関する悩み等を相談する機関、検査する機関等
- 性の逸脱行動等の諸問題
  - 性被害や性加害に関する問題や犯罪の実態【発生状況、要因、起こりやすい場所、実態の概要（セクシャルハラスメント、誘拐、ストーカー、性的いじめ、性的暴力、強制わいせつ）等】
  - 10代の人工妊娠中絶やクラミジア等の性感染症の実態
  - 誤った性情報や出会い系サイト、ピアプレッシャー等の危険性、実態、対処方法
  - 性行動に伴う妊娠等のリスク及び回避方法等

#### ◇ 自己や他者の命を大切に作る子ども

… 生命や人権を尊重する心や態度の育成

- 生命の尊重
  - 生を受けたこと、生命誕生の素晴らしさや喜びを実感すること【「生きている証」の体感 等】
  - 自他の生命に対する畏敬の念や尊さを感じし自覚すること
- 異性の尊重
  - 男女相互に信頼し、正しい理解と友情を育て、協力して助け合おうとする心を育むこと
  - 異性の特性や違いをきちんと受け止め、相手の人格を尊重する心を育むこと
  - 家庭や社会における男女の平等や望ましい異性交友等の在り方について幅広く考えること
- 自己の尊重
  - かけがえのない自分の命や価値、能力等を自覚し、セルフエスティームを高めること
  - 自制心に欠けた性に関する行動が自分自身に及ぼすリスクを自覚すること

□ 他者の尊重

- 自己の行動に責任をもって生きることの大切さに気付くこと
- エイズや性感染症等に対する偏見や差別を払拭すること
- 相手を認め尊重する受容的な態度を培うこと

◇ **必要なライフスキルを身に付ける子ども**

… 適切に対処しよりよく生きる力の育成

□ 対人関係スキルの育成 ☞ 良好な人間関係の構築と維持

- 男女相互の尊重や協力
- 相手の人格を尊重した態度や言動
- マナーやエチケットの遵守

□ 共感性スキル ☞ 肯定的な受容と理解

- 異性に対する理解や受容的な態度、思いやり
- 相手に対する理解と互いに向上していく態度

□ コミュニケーションスキル ☞ 効果的で適切な自己表現

- 自分の気持ちを上手に伝えるなどの自己表現能力

□ 問題解決スキル ☞ 多様な問題への建設的な対処

- 性被害を受けた場合などの対処（家族や先生、友達などの身近な人への相談 等）
- 性に関する適切な態度や行動の選択

□ ストレス対処スキルの育成 ☞ ストレスの調整や対処

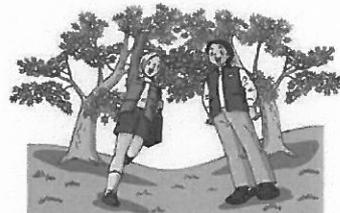
- 不安や悩みへの対処（友達と遊ぶ、趣味に取り組む、運動をする、音楽を聴く 等）

□ 批判的思考スキル ☞ 客観的な分析や認識

- ピアプレッシャーに対する客観的認識
- 性情報に対する適切な判断や選択

□ 意思決定スキル ☞ 自らの判断による選択と決定

- 危険の予測や事前の備え等、日常生活を安全に保つ能力
- 自分の異性に対する姿勢を見直し、責任ある行動をとろうとする態度
- 男女共に充実した学校生活を築こうとする主体的な態度



## 4 集団指導と個別指導

学校において「性に関する教育」を行う場合、それぞれの発育段階における、子どもたちの性に関する課題や実態等に応じて、集団で指導すべき内容と個別に指導すべき内容とを見極めながら、指導を行うことが求められます。

集団指導については、エイズや性感染症から子どもたちを守るといった観点や、子どもたちの性行為は適切ではないという共通認識のもと、指導内容を十分に検討することが必要です。

また、個別指導を行うことが望ましいと思われる内容としては次のようなものが考えられます。

- ア 性に関する悩みや相談への対応
- イ 発達の段階や受容能力の個人差が大きい場合への対応
- ウ 性に関する言動に問題がある場合への対応
- エ 性被害や性加害への対応

また、指導にあたっては、

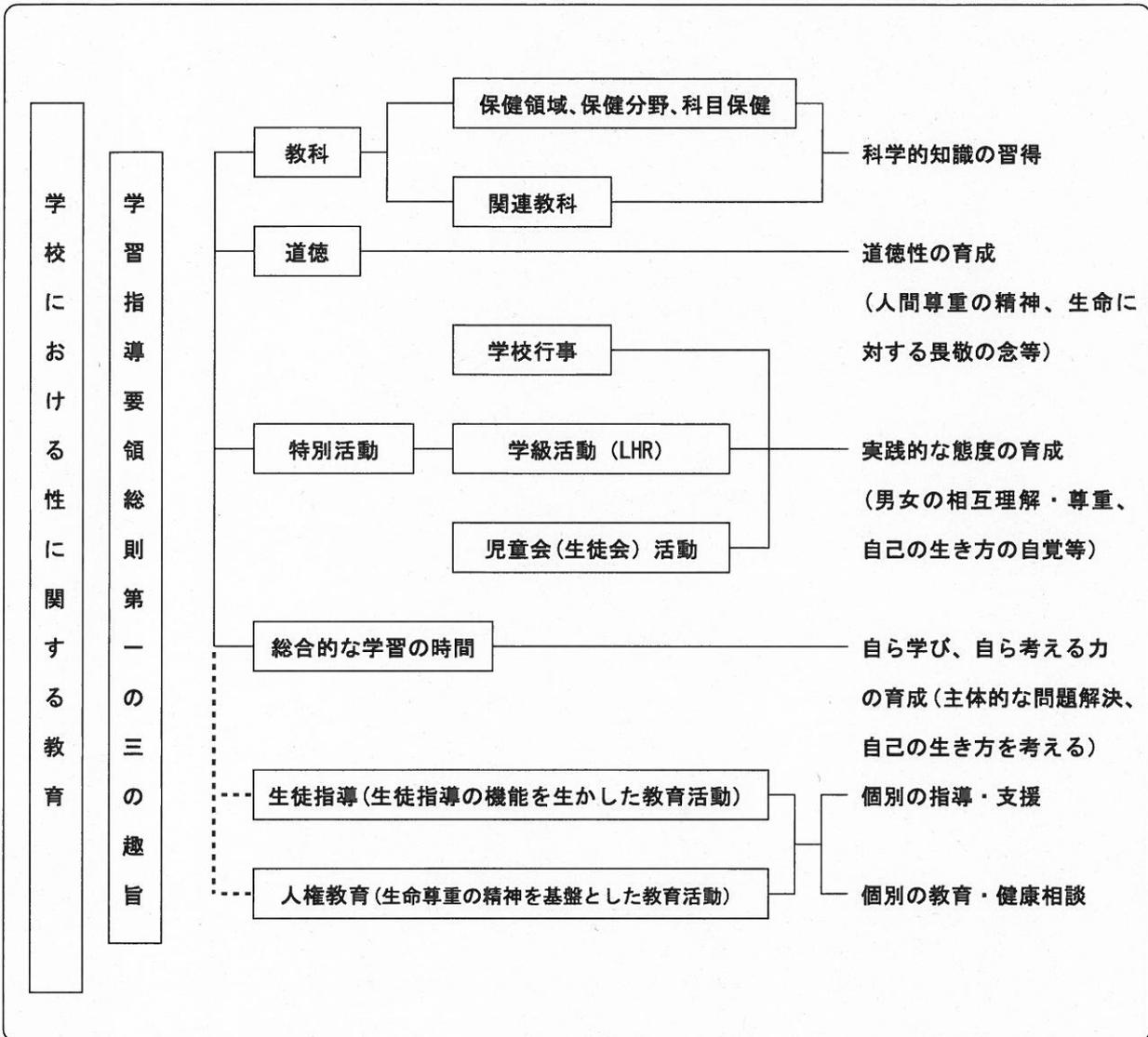
- 児童生徒の家庭環境や成育過程等を十分確認すること。
- 保護者はもとより、関係機関及び教職員相互の連携に努めること。
- 個人情報取り扱いに、十分留意すること。

等に配慮することが必要となります。

## 5 「性に関する教育」を推進するための体制づくり

### (1) 教育課程への位置付け

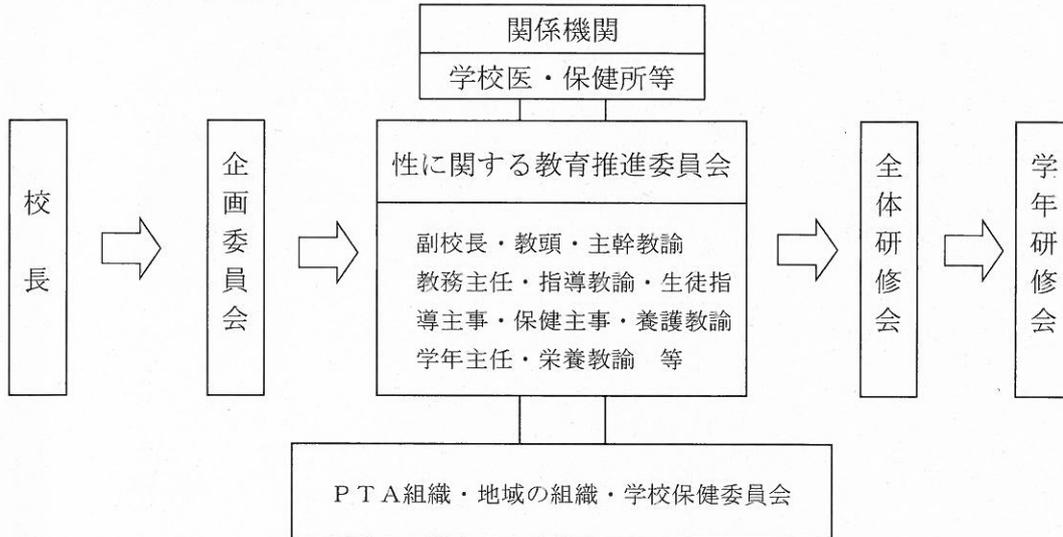
「性に関する教育」を効果的に推進するためには、教育課程に明確に位置付けることが必要です。そのためには、まず学習指導要領に示されている各教科や道徳、特別活動等の指導内容の中から、性に関する事項を洗い出し、その後、あらゆる教育活動における関連する内容や活動等を含めて、体系化しながら「性に関する教育」の全体計画や年間指導計画を、学校の目標や児童生徒の実態等に即しながら作成することが必要となります。



## (2) 指導のための推進組織づくり

「性に関する教育」を組織的に、かつ全ての教育活動を通して推進するためには、「性に関する教育推進委員会」等の組織を新たに設ける方法が考えられます。この他、学校保健委員会等の既存の組織に、「性に関する教育」推進のための機能を位置付けることも有効な方法です。

### ア 性に関する教育推進組織例



### イ 「性に関する教育推進委員会」等の機能

「性に関する教育」を推進するための組織では、児童生徒の発達の段階や地域の実態等を考慮し、主として次のような役割を担うことが求められています。

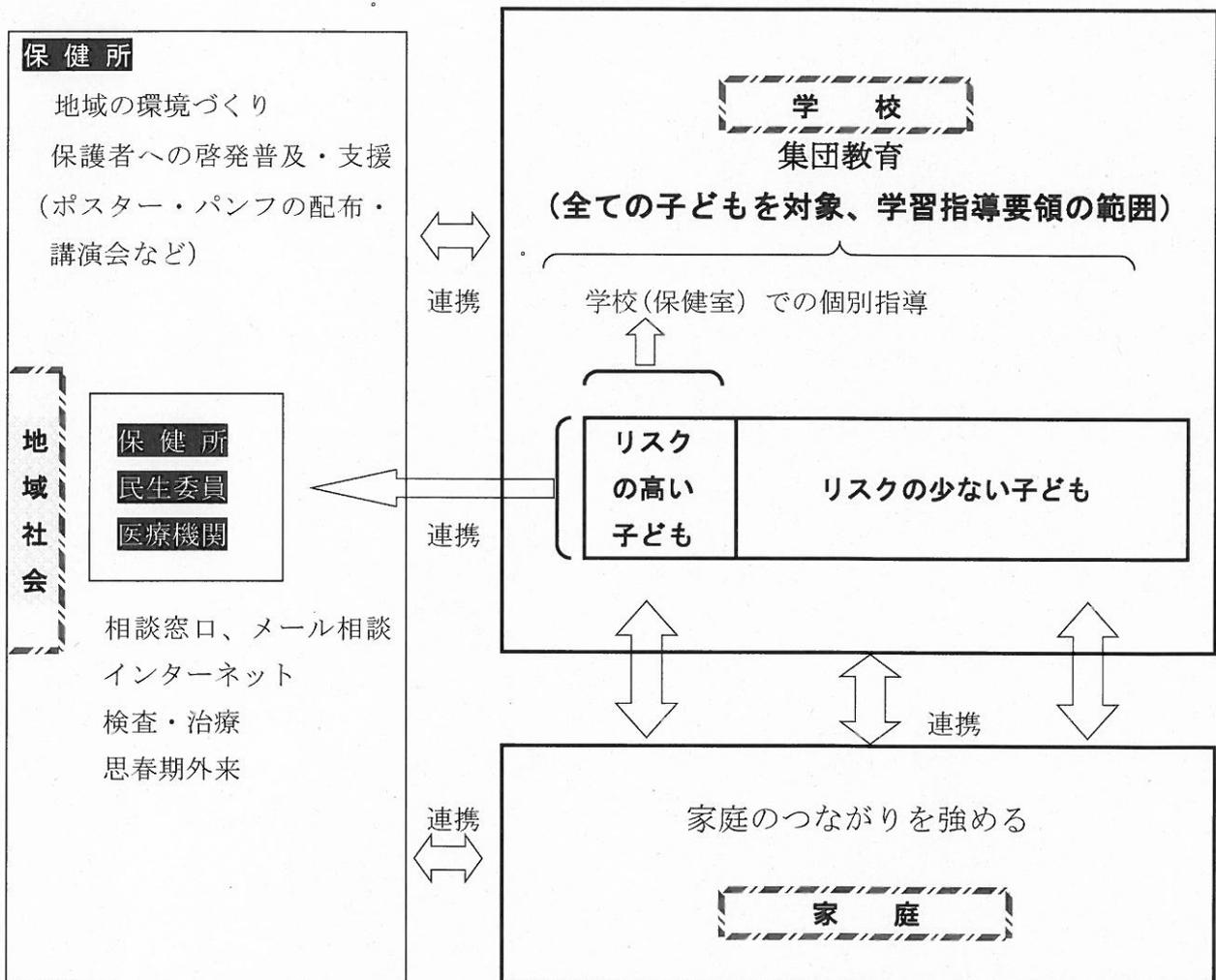
- 学校の教育目標との整合性を図りながら「性に関する教育」の目標を設定すること
  - 「性に関する教育」の全体計画や指導計画を作成すること
  - 必要に応じて、個別の指導・支援及び教育相談、健康相談を行うこと
  - 「性に関する教育」について、校内研修を実施すること
  - 教材や教具、資料等について管理すること
  - 保護者の理解を促し、連携の推進を図ること
  - 学校医をはじめ関係機関や団体、専門家等との連携を推進し調整すること
  - 指導計画や指導方法等、「性に関する教育」の評価及び改善を行うこと
- 指導計画、指導内容、指導方法、学習指導要領との整合、保護者・地域・関係機関等との連携その他

## 6 家庭、地域、関係機関との連携

児童生徒に、性に関する知識をはじめ、自他を尊重しようとする心や態度をも身に付けさせるためには、学校での教育活動はもとより、家庭や地域における働きかけが必要となります。

そこで、児童生徒の性に関する課題や実態、さらに学校における「性に関する教育」の内容等について、家庭や地域に情報を発信し、理解と協力を得ることは極めて重要です。

学校が進める「性に関する教育」について、家庭や地域社会との共通理解を図ることで、教育的効果はさらに高まります。また、児童生徒が身体的、精神的な不安を抱えていたり、思春期における特別な相談を必要としたりする場合には、地域の保健医療機関をはじめ、各種の機関、団体等との連携を深めることも大切です。



京都大学大学院 木原雅子准教授 (WYSHプロジェクト社会分業モデル参考)

## 7 各教職員の役割

学校における「性に関する教育」を効果的に進めるにあたり、全教職員がそれぞれの役割や相互の協力、連携の仕方について理解しておくことが大切です。

### 校長・副校長・教頭

校長・副校長・教頭は、全校をあげて「性に関する教育」を推進するために、児童生徒の性に関する実態や課題、発育や発達の状態等について把握し、自校における「性に関する教育」が具現化されるための基本方針を明らかにすることが求められます。

また、性に関する教育が計画的、組織的に推進されるように、年間指導計画等の作成について指導、助言を与えたり、指導のための環境や条件を整備することも必要です。

さらに、「性に関する教育」の情報を家庭や地域に発信し、学校医や関係機関等との連携を図りながら、その推進を図ることが重要です。

### 主幹教諭・教務主任

主幹教諭・教務主任は、「性に関する教育」を推進するために、教育課程編成の責任者として年間を通し計画的に「性に関する教育」が実践されるよう、その計画立案や他の教育活動との調整等を行うことが求められます。

また、地域における他校との連絡調整や、小中高が連携を図りながら「性に関する教育」を進めるための魅力ある取り組みの機会が確保できるよう努めることも重要です。

さらに、研究主任等とも協力し、校内での必要な研修を企画・実施する等、全校的な指導力の向上を図ることも期待されます。

### 研究主任

研究主任は、年間の校内研修計画に「性に関する教育」を計画的に位置付けたり、教材や教具、資料についての収集、管理に努め、研修の内容を充実させる等、効果的な運営に努める役割があります。

### 学年主任

学年主任は、所属する児童生徒の性に関する実態や課題を把握し、「性に関する教育」が適切かつ効果的に行われるよう、関係する組織や担当者との調整を図る役割があります。

また、学年の行事や集会等においても、命の尊さを基盤とした活動や学習を積極的に行い、連帯感を高めながら、人間尊重や男女平等の好ましい人間関係を構築することが求められます。

### 指導教諭

指導教諭は、所属する学校の児童生徒の実態をふまえ、他の教諭等に対して教育指導に関する指導、助言を行う職であり、すなわち「性に関する教育」の効果的な授業づくりや指導過程等についても積極的に関わりをもつことが求められます。

#### 生徒指導主事・教育相談担当

生徒指導主事や教育相談担当は、「性に関する教育」が問題行動抑止のための対処療法的な指導にならないように、命の尊さを基盤とした教育が適切に行われるよう、教職員に対し指導、助言をするとともに、児童生徒への集団指導や個別指導を通し、性に関する様々な問題等への指導や支援等を行うことが期待されます。

#### 保健主事

保健主事は、学校保健と学校全体の活動に関する調整や学校保健計画の作成、学校保健に関する組織活動の推進（学校保健委員会の運営）等学校保健に関する事項の管理に当たる職員であり、その果たすべき役割は大きくなっています。

また、学校における保健に関する活動の調整にあたる教員として、すべての教職員が学校保健活動全体に関心をもち、それぞれの役割を円滑に遂行できるように指導・助言することも期待されます。

さらに、養護教諭と協力して学校における「性に関する教育」の企画や立案を行ったり、児童生徒の性に関する実態を把握し、家庭や関係機関との連携を図ったりする等、学校における「性に関する教育」の推進者としての役割も求められます。

#### 養護教諭

養護教諭は、保健室のもつ機能を生かし、児童生徒の心や体に関する様々な悩みや不安について情報を把握し、その解消に努めたり、「性に関する教育」を具現化するための情報を提供することが求められます。

また、心のケア（心の健康、精神衛生、精神保健）についても積極的に取り組み、学校医や関係機関等との連携を進め、児童生徒等の心身両面にわたる健康相談を実施することについて、積極的な役割が期待されています。

#### 栄養教諭

栄養教諭は、学校における食育推進の要であり、児童生徒が将来にわたって健康に生活できるよう栄養の指導及び学校給食の管理を担う大変重要な役割があります。児童生徒に自分の食事を自ら管理していく能力を身に付けさせたり、食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝の気持ちを抱かせたりすることは、「生命」に関する教育であり、「性に関する教育」につながることからその役割が期待されます。

#### 教科担任・学級担任

教科担任や学級担任は、担当する学級の児童生徒が抱える性に関する課題や実態等を的確に把握したり、職員同士の情報交換を密に行ったりすることで、学校の教育活動全体を通した全ての場面において、効果的に「性に関する教育」を推進することが求められます。

また、生命尊重を基盤とした学級経営を心がけ、人間尊重や男女平等の理念が具現化されるように努めることが求められます。

# 児童生徒の発達段階に応じた指導計画例

児童生徒の発達段階に応じた指導計画例														
校種	小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			特別支援				
	児童生徒の発達段階における特徴	低学年	小 中 学 年	高 学 年	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年	小学部(低)	小学部(高)	中学部	高等部
<b>指導の観点</b> ○ 性意識の芽生え ○ 友達関係の広がり ○ 知的発達が目覚ましく好奇心旺盛期 ○ 保護者や教師への依存度が高い														
<b>性に関する基本的な部分として生理的、心理的、社会的側面などから総合的にとらえ、科学的な知識を与える。</b>			○ 自己の性認識 ○ 発達の男女差の発現 ○ 客観的な考え方、異性への関心の芽生え ○ 道徳的心情・判断力の発達	○ 性差の意識 ○ 深まる自己の性への認識 ○ 二次性徴の発現 ○ 高まる異性への関心	○ 性や異性への強い興味・関心 ○ 性衝動の発現 ○ 性的成熟の完成へ ○ 自我の目覚め	○ 性や異性への強い興味・関心 ○ 性衝動の発現 ○ 性的成熟の完成へ ○ 自我の目覚め	○ 健康な生活と疾病の予防 ・感染症の予防 ・エイズ及び性感染症の予防	○ 健康な生活と疾病の予防 ・感染症の予防 ・エイズ及び性感染症の予防	○ 健康な生活と疾病の予防 ・感染症の予防 ・エイズ及び性感染症の予防	○ 健康な生活と疾病の予防 ・感染症の予防 ・エイズ及び性感染症の予防				
<b>心身の発達・発達や性に関する内容について理解し、健康の大切さを認識し、危険(リスク)を回避し、自らの健康を管理し改善する。</b>	★-1 ○てをあらおう 生活	★-3 ○おとこのこおんなのこ 学活	★-12 ○初経(月経)ってなあに? 特設	★-13 ○射精のしくみと対応 特設	○ヒトの誕生 理科	○ヒトや動物体のつくりとはたらき 理科	○動物の生活と種類 ○生物と細胞と生殖 理科 ○修学旅行事前指導 特設 ○新しい生命の誕生 学活	○生物と遺伝子 理科						
<b>生命や人格の尊重、男女平等の精神の下に、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築くことができる。</b>	★-2 ○からだをきれいに 学活	★-6 ○わたしのたんじょう 学活	★-8 ○命のつながり 学活	★-11 ○命のはじまり 学活	★-14 ○生命の連続とわたしたち 学活	○家族と家族関係 家庭科 ★-3 ○大人への第一歩 学活	★-2 ○自分らしさ 学活	○性的欲求と行動(スキル) 学活 ○大切な命【3-(1)】 道徳 ○友情と恋愛【2-(4)】 道徳 ○男女のかかわり 学活	★-5 ○男女の特性と協力 学活 ○認め合う性【2-(4)】 道徳	★-3 ○性感染症と私たち～WYSH教育より～ LHR ○社会とのつながり 公民				
<b>家族や社会の一員としての在り方を理解し、性に関する諸問題に適切に対処するとともに、よりよい家庭や社会づくりに向けて責任ある行動を実践することのできる資質や能力を育てること。社会の一員として必要な人間の性の基礎的・基本的事項を習得する。</b>	★-4 ○みんななかよし 学活 ○つながっている命【3-(1)】 道徳 ○家族のつながり【4-(3)】 道徳	★-5 ○さそいにのらない 学活 ○みんな仲良く【2-(3)】 道徳	★-10 ○男女なかよく 学活 ○家族のあたたかさ【4-(3)】 道徳	○大切な命【3-(1)】 道徳 ○命のかかやき【3-(2)】 道徳	★-17 ○偏見と差別 学活 ○かけがえない命【3-(1)】 道徳 ○命のかかやき【3-(2)】 道徳	★-2 ○自分らしさ 学活 ○生命尊重【3-(1)】 道徳 ○思春期の心【2-(4)】 道徳	★-5 ○男女の特性と協力 学活 ○認め合う性【2-(4)】 道徳	○自分と相手を大切にすることを 集会 ○家族と社会 社会 ○人権と共生 社会 ○思いやり【2-(2)】 道徳	★-1 ○異性性わりの方のそま 学活 ★-2 ○男女の人間関係と自分の気持ちを伝えること LHR ★-1 ○男女の意識と行動 LHR	★-1 ○好きな人ができて 学活				
	○大すきだよ 生活	★-7 ○テレビ・ゲームとわたしたち 学活 ○みんな仲良く【2-(3)】 道徳	★-9 ○命を守る 学活 ○明るい家族【4-(3)】 道徳 ○家族【4-(3)】 道徳	★-15 ○わたしたちをとりまく性情報 学活 ○父母の愛【4-(5)】 道徳 ○男女の協力【2-(3)】 道徳	★-16 ○家族の一員として 学活 ○男女仲良く【2-(3)】 道徳 ○父の愛【4-(5)】 道徳 ○男女の協力【2-(3)】 道徳	★-1 ○出会い系サイトの背後に潜むもの 学活 ○異性の理解【2-(4)】 道徳 ○情報とコンピューター 技術	★-4 ○自分と相手を大切にすることを 集会 ○家族と社会 社会 ○人権と共生 社会 ○思いやり【2-(2)】 道徳	○自分と相手を大切にすることを 集会 ○家族と社会 社会 ○人権と共生 社会 ○思いやり【2-(2)】 道徳	○携帯サイトの危険 LHR ★-4 ○デートDV～WYSH教育より～ LHR ○メディアと性情報 LHR ○人の一生と家族・家庭及び福祉 青年期の自立と家族・家庭・子供の発達と保育 家庭					

○ 事例集で紹介してある題材には★がついています。

指導事例

小学校 低学年	題材名  <b>てをあらおう</b>
------------	--------------------------

1 題材について

手洗いは、病気を予防するための身近な方法の一つであり、体を清潔に保つ手段でもある。さらに、気持ちよい人間関係を築いていく上でも大切なことであるが、低学年の児童の場合、目に見えない汚れを意識することがほとんどないため、清潔感を高めることが難しい。

しかし、手洗いは基本的な生活習慣の基礎であり、手や体を清潔に保つことが健康につながることを知らせ、自分の体を大切にすることを育めることは重要なことである。そのため、低学年の段階から、手洗いをやる理由や正しい手洗いの仕方を理解させ、実生活で実践化・習慣化していく力を身に付けさせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 手を清潔にする理由を理解し、手をきれいに洗うことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 日頃の手の洗い方を振り返る。	○ 日頃の生活を振り返り、自分がしている洗い方を発表させる。	
展開	2 手を洗うのはなぜかを考える。 ・どんな時手を洗うのか 食事の前、トイレの後、汚れた時 外から帰ってきた時 ・なぜ手を洗うのか きれいにする、病気にならない 気持ちいい	○ ばい菌がついた手で食事をした絵や写真カードを使って説明する。 ○ 病気の予防になることに気付かせ手洗いの大切さを確認させる。 ○ 友達と手をつなぐ時、汚れていると相手に不愉快な思いをさせることに気付かせる。	・写真 ・予想される答えのカード ・汚れた手の絵または写真
	3 手の洗い方を知る。 ・手の洗い方の順序について <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           1 手をぬらす。(水だけで洗う)            2 石けんをつける。            3 手の平を洗う。            4 手の甲と指の間を洗う。            5 親指を洗う。            6 指先を洗う。            7 手首を洗う。            8 洗い流す。            9 きれいなハンカチでふく。         </div>	○ 順序を1つずつ示し、模倣をさせ確認させる。 ○ 手の平、手の甲、指の間を意識させる。(指さしする、教師と一緒に等) ○ 清潔なハンカチを使うことや使い方理解させる。 ○ 日常生活で実践・習慣化する大切さに気付かせる。	・手洗いの順序が分かる絵や写真カード
	4 実際に練習してみる。 (手を絵の具で汚して) ・写真カード(絵)にそって	○ きれいに洗うことができたか確認する。	・絵の具 ・石けん ・ハンカチ
終末	5 学習のまとめをする。 ・手を洗う理由や、洗い方について確認する。	○ 手をきれいにすることは、自分の体も大切にすることにつながることを押さえ、実践化を促す。	

4 他の教育活動との関連

○ 節度・節制、自立(道徳)

指導事例

小学校 低学年	題材名  <b>からだをきれいに</b>
------------	----------------------------

1 題材について

体をきれいにすることとしては、手洗い・洗顔・歯磨き・入浴・排尿排便の後始末などがある。しかし、この時期の子どもたちは、自分から進んで体を清潔にしようとする意識は低く、周りの大人や教師から言われて実行することが多い。また、児童にとって体を清潔にするということは、目に見える表面的なものに限られている。

そこで、基本的な生活習慣を身に付ける「はじめ」の段階であるこの時期に、目に見えない細菌の存在や体を清潔にすることが健康につながるということを理解させ、体を清潔にする習慣や態度を養うことは非常に意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 生活の中で体をきれいにすることの大切さを理解し、自分の体をきれいにすることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 ウエットティッシュで手を拭き体の汚れに気付く。	○ きれいに見えても体は汚れていることに気付かせる。	・ウエットティッシュ
展開	2 体の汚れやすいところを調べる。 ・目に見えやすいところ ・目に見えにくいところ	○ 日頃の体験を思い出させながら、汚れやすいところに印を付けさせる。 ○ 目に見える汚れ、目に見えない汚れについて押さえる。	・男の子、女の子の絵 <資料1>
	3 体を汚れたままにしているとどうなるか考える。 ・自分も気持ち悪い ・他の人も嫌な気分にする ・病気にかかりやすい	○ 体を清潔にすることの大切さに気付かせる。	
	4 体をきれいにするにはどうしたらよいか話し合う。 ・手を洗う ・顔を洗う ・歯をみがく ・お風呂に入る ・排尿や排便の後始末 等	○ 自分の体験をもとに、体の汚れやすいところをきれいにする方法を考えさせる。	
展開	5 体をきれいにする方法について確かめる。 ・入浴の必要性 ・入浴で気を付けること ・排尿や排便の仕方や後始末	○ 入浴は一日の体の汚れをとり、皮膚を清潔にするために大切であることを理解させる。 ○ 性器は大切なところだから清潔にすることを理解させる。 ○ 排尿や排便の仕方によって、正しい後始末の仕方があることを理解させる。	・入浴の仕方の絵 <資料2>  ・排尿や排便の後始末の絵 <資料3>
	終末	6 学習のまとめをする。 ・これから気を付けることについて考える。	○ 清潔な習慣の定着を図るため、自分がこれから気を付けることを確かめさせ、実践意欲をもたせる。

4 他の教育活動との関連

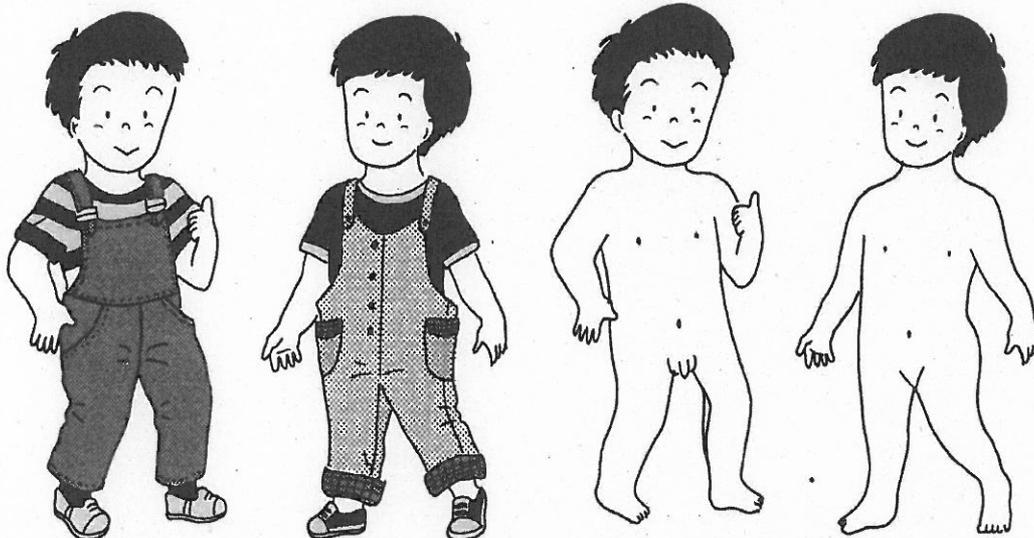
○ 節度・節制、自立（道徳）

5 授業の配慮事項

○ 入浴や洗濯等、家庭によっては毎日できない児童がいることに配慮する。

なまえ( )

からだのなかでよごれやすいところを○でかこみましょう。



からだをきれいにするためには、どんなことにきをつけたらよいか、かんがえてかきましょう。

---

---

---

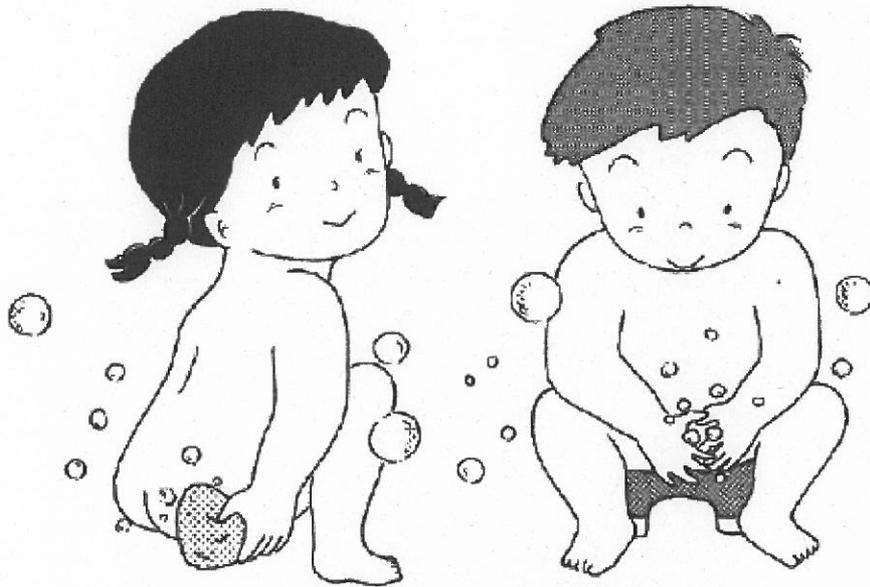
---

---

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「からだをきれいに」でした。  
私たちの体には、目に見えやすい汚れと目に見えにくい汚れがあることや、それをそのままにしていたらどうなるかについて話し合い、その後、どうしたら体をきれいにすることができるかについて考えました。特に、入浴の仕方や排尿・排便の後始末の仕方については、性器はとても大切なところなので、きれいにしておく必要があること等を学習しました。  
そして、学習のまとめでは「からだをきれいにするために気を付けたいこと」を子どもたち自身で考え、実践していくことにしました。  
ご家庭でも入浴や排尿・排便の後始末、手洗いや洗顔、歯みがき等、子ども自身が自分の力で自分の体を大切に、そして清潔にできるよう、生活習慣の見直しや指導をお願いします。

<資料2> 入浴の仕方



おとこのこも、おんなのこも  
あたま、かお、て、あし、からだ、  
おしっこをするところ、  
うんちをするところをあらう。

<資料3> 排尿や排便の後始末



おしっこやうんちのあとは  
きれいに、よくふく。



かみをもったては、まえから  
うしろにむかってふく。

指導事例

小学校 低学年	題材名  おとこのこ おんなのこ
------------	------------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、男女の性器や排泄の仕方の違いについて、興味・関心をもち始め、性に関する質問も多くみられるようになる。

そこで、体の成長の様子や男女の体のつくりの違いを理解させ、様々な臓器が働いて体が成長していくことを理解させるとともに、自分を大切にしていこうとする心情を培うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 自分たちの体の成長には、体の中の様々な臓器が働いていることを知るとともに、男女の違いを理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 体の成長に気付く。 ・手や足の大きさ ・身長や体重 等	○ 赤ちゃんの頃と今の自分の手や足の大きさを比べ、大きくなっていることに気付かせ、成長の喜びを感じさせる。 ○ 個人差はあるが、それぞれ成長していることを理解させる。	・赤ちゃんの手形や足形の絵 <資料1>
展開	2 体の中の大切な臓器について話し合う。 ・心臓、肺、胃、腸等  3 男女の性器には違いがあることを知る。 ・男子（大きくなってくると赤ちゃんのもとをつくるようになる。） ・女子（おなかの中に赤ちゃんのたまごのもとをもっている。赤ちゃんを産むことができるようになる。） ・男女の性器には違いがあるが、どちらも「命のもとに関係があるところ」であること  4 大切な体を守るために自分でできることは何かを考える。 ・事故やけがに気を付ける。 ・病気になるない体をつくる。 ・体を清潔にする。	○ 体の中には、さまざまな臓器があり、それらが大切な働きをしていることに気付かせる。  ○ 男女の体の違いを明確にし、男女ともに大切な存在であることを認識させる。 ○ 大切な性器を叩いたり、蹴ったりしてはいけないことを理解させる。 ○ 大切なところをプライベートゾーンと言い、人に見せたり触らせたりしてはいけないこと、人を見たり触ったりしてはいけないことについて理解させる。  ○ 日常生活を振り返らせ、ワークシートに書かせる。	・各臓器の絵 <資料2>  ・プライベートゾーンの絵 <資料3>
終末	5 学習のまとめをする。	○ これからの生活について考えさせ、実践意欲をもたせる。	

4 他の教育活動との関連

○ 生命尊重(道徳)

5 授業の配慮事項

○ 体の成長の個人差に十分配慮する。

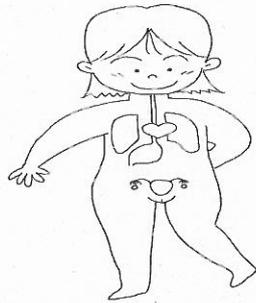
<資料 1> 赤ちゃんの手形・足形 (実物大)



<資料2> 各臓器の絵

<しんぞう>

きれいな血<sup>けつ</sup>えきをからだの中<sup>なか</sup>におくりだすポンプ  
のはたらきをします



(卵巣)

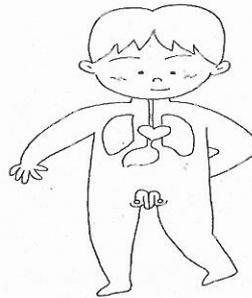
生まれたときから、赤ちゃんのたまご  
のもとが、たくさんつまっています。

(子宮)

赤ちゃんのそだつ  
へやがあります。

<い>

食べたものをこまかくくだきとがします。



(精巣)

ここには、いのちのもとを  
つくるしくみがあります。

※ 卵巣・子宮・精巣の言葉は、指導しない。

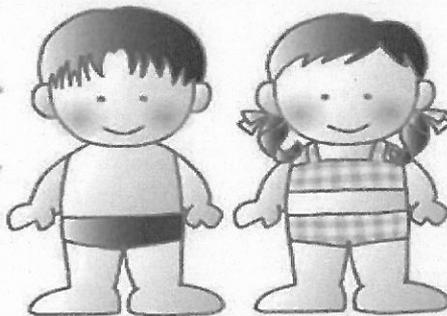
<資料3> プライベートゾーンの絵

からだをまもろう

からだは、かんたんに、みせない、さわらない！

からだは  
たいせつだよ

みずぎで  
みえないところは  
きみの  
たいせつな  
ひみつの  
ところだよ



じぶんの  
からだは  
かんたんに  
みせちゃだめだよ  
さわらせちゃ  
だめだよ

ほかのひとの  
からだも  
かんたんに  
みちゃだめだよ  
さわっちゃ  
だめだよ

学習用フラッシュムービー「からだをまもろう」 Copyright (C) 2005 保健室のパソコン活用. All rights reserved. 免責事項 ▶

おわる

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「おとこのこ おんなのこ」でした。  
生まれてから個人差はあるものの、みんな大きく成長していることや、からだの中には、様々な臓器があり、大切な働きがあること等を学習しました。  
その中で、男女の性器には違いがあり、どちらの性器も「命のもとに関係があるところ」だということを知りました。  
また、水着で隠れる部分を「プライベートゾーン」ということや、その部分は人のを見たり触ったりしてはいけないこと、逆に見せたり触らせたりしてはいけないこと等についても学習しました。ご家庭でも、大切なからだ・命についてお子さんと話をしてみてください。

小学校 低学年	題材名  みんななかよし
------------	--------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、異性の意識が未分化の状態にあり、男女の区別はついても性的な感情はあまり育っていない。一方、男女別々に遊ぶことが多くなったり、異性間の反発的な行動が現れたりするようになる。また、自己中心的な考え方の強い時期でもあり、相手の気持ちを考えない言動が見られることもある。

そこで、このような時期に人と人との関わりを認識させ、男女にはそれぞれの特徴があるが、男女関係なく全ての人大切にされなければならないこと、そのためには、相手の気持ちを考えたり、自分が我慢したりする必要があることの大切さについて理解させることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性の良いところを見つけたり、お互いの気持ちや立場を考えたりしながら、人の心を傷つける言動を慎むとともに、お互いの良いところを認め合い、仲良く明るく生活していくことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 友達の良いところについて話し合う。	○ 自分の周りにやさしい友だちがいないか考えさせ、良い行動に目を向けさせる。	
展開	2 学級の友達のことについて話し合う。 ・困ったこと ・気になること ・こうしたらいいのと思うこと  3 男女の区別なく、もっと仲良しの学級にするにはどうしたらよいか話し合う。 ・どんなことに気を付けていったらいいか。	○ 日頃の気持ちを素直に話させる。 ○ 特定の児童に話題が集中しないようにする。 ○ 軽い気持ちでやっていることが相手にとって嫌なことがあることを理解させる。 ○ 異性に対する不満等があることに着目させる。  ○ 男女関係なく、良いところは認め合い、足りないところはみんなで補い合っていくことの大切さについて理解させる。	
終末	4 学習のまとめをする。 ・もっと仲良しの学級にするためにできることを発表する。	○ みんなで取り組むことを確認し実践意欲をもたせる。	

4 他の教育活動との関連

- 友情・信頼、助け合い（道徳）

5 授業の配慮事項

- 学級全体のこととして考えられるよう、配慮する。

<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「みんななかよし」でした。  
まず、お友達の良いところを知ることから始めました。学級の中で、困っていることや気になること、こうしたらいいのになあとと思っていることについて話し合いを行いました。  
そして、これからもっと学級が仲良くなる取り組みについても子どもたちと話し合いました。指導の中で、男だから・女だからとか、男のくせに・女のくせにといった固定観念をもたせないように、お互い一人一人の良いところを知って認め合い、足りないところはみんなできれいにしていくことが大切であることを確認しました。

指導事例

小学校 低学年	題材名  さそいにのらない
------------	---------------------

1 題材について

子どもたちは、学校に慣れてくると行動範囲が広がり、下校中など好奇心や関心の向くままに行動するようになってくる。そして、誰にでも親切にしようという意識が強くなるため、疑うことなく他人の誘いにのって、尊い命が危険にさらされたり、性被害を受けたりすることも懸念される。

また、身近で声かけ事案等が発生している現状もあることから、日常生活において身の安全を図る意識を高める指導が必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 知らない人に誘われた時の対処の仕方を知り、危険から身を守ろうとする意識をもつことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 知らない人から声をかけられ、びっくりしたこと、怖かったことについて話し合う。 ・いつ、どこで、どうした	○ 児童の体験や知っていることなどを中心に話し合わせる。	
展開	2 どうして知らない人について行ってはいけないのかについて考える。  3 誘われたりするような危険な場所について考える。 ・見通しが悪いところ ・いつも遊ばないようなところ ・人が通らないところ ・周りに家がないところ ・誰もいない公園や神社等  4 被害を受けそうになった時の対応の仕方について練習する。 (被害を受けそうな場面) ・品物をあげる ・車に乗せてあげる ・道を聞かれる ・誘われる (家族が病気、事故等で一緒に行こう等) (対処の仕方) ・相手と距離を置く ・はっきりとした意思表示をする ・大きな声を上げる ・防犯ブザーを鳴らす ・近くの大人に助けを求める ・近くの家に逃げこむ 等	○ 誘拐されたり、いたずらされたり、命に危険があることについて押さえる。 ○ 誘われたりするような危険な場所はないか話し合わせる。 ○ 身近な場所についても十分目を向けさせる。 ○ 日頃人がいるところでも、時間帯によっては人がいなくなり、危険な場所となることについて押さえる。  ○ 誘われる場面を絵の提示によって明確に認識させる。 ○ 誘いの手口はとても巧みであることを具体的に理解させる。 ○ 役割演技をさせることではっきりとした意思表示が大切であることを理解させる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><b>イカ</b>：知らない人についてイカない  <b>の</b>：人の車にのらない  <b>お</b>：おお声で叫ぶ  <b>す</b>：すぐ逃げる  <b>し</b>：何かあったらすぐにしらせる</p> </div> ○ おたすけハウスのマークとその意味を知らせる。	・校区内など危険な場所の写真  ・誘われる場面の絵 ＜資料1＞  ・参考：宮崎県警ホームページ 「イカのおすし」より  ・おたすけハウスのマーク ＜資料2＞
終末	5 学習のまとめをする。	○ 自己防衛の方法について確認し、実践化を促す。	

4 授業の配慮事項

- 実際に被害にあった児童がいる場合は十分に配慮する。
- 強い恐怖心だけを残さないよう留意する。

<資料1> 誘われる場面の絵



<資料2> おたすけハウスのマーク



<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「さそいにのらない」でした。  
「どうして知らない人の誘いにのってはいけないのか」や「校区内に危険な場所はないか」  
についてみんなで考えました。  
また、被害を受けそうになった時の対処方法についても実際に練習しながら学習しました。  
他人の話に疑いもなくのることは、尊い命を失ったり、性被害を受けたりすることにもつながりかねません。  
命はひとつです。ご家庭でも、近所や通学路等に潜む危険について具体的にお子さんと話を  
してみてください。「ここは大丈夫」、「うちの子は大丈夫」といった認識は危険です。

指導事例

小学校 低学年	題材名  わたしのたんじょう
------------	----------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、赤ちゃんの誕生に関心を持ち「赤ちゃんはどこから生まれるの」「どうやって生まれるの」等素朴な疑問をもつことが多い。しかし、家庭においてこれらの疑問に対して十分に答えることは難しいと思われる。

そこで、この時期に生命の誕生について正しく知らせるとともに、自他の生命の尊さを実感させることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 一人一人が大切な存在であることに気づき、自分や他の人の体や命を大切に生きていくことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	<p>1 人はどのように生まれてくるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫は竹から</li> <li>・桃太郎は桃から</li> <li>・人間はどこから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の命の誕生について、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐや姫、桃太郎の絵</li> <li>&lt;資料1&gt;</li> </ul>
展開	<p>2 妊婦さんの絵を見て気付いたことを話し合う。</p> <p>3 おなかの中の赤ちゃんの様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へその緒でつながっている。</li> <li>・羊水で守られている。</li> <li>・頭が下向き など</li> </ul> <p>4 赤ちゃん人形を抱く。</p> <p>5 家族からの手紙を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族みんなが赤ちゃんの誕生を楽しみにしていたこと等を知る。</li> <li>・名前の由来等について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妊婦さんの優しい表情や、おなかのふくらみに気付かせる。</li> <li>○ へその緒や羊水の役割を簡単に説明し、赤ちゃんがおなかの中で大切に育てられてきたことを理解させる。</li> <li>○ 胎児の心音や産声を聞かせることによって、胎児や赤ちゃんの命について考えさせる。</li> <li>○ 赤ちゃん人形を抱かせ、母親の赤ちゃんへの思いや命の重みを実感させる。</li> <li>○ 落ち着いた雰囲気の中で手紙を読ませる。</li> <li>○ 生まれたときから、ずっと大切に育てられてきたことに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦さんの絵&lt;資料2&gt;</li> <li>・胎児の心音や産声のテープ</li> <li>・赤ちゃん人形</li> <li>・家族からの手紙</li> </ul>
終末	<p>6 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や家族への手紙を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親や家族の思いを知らせることで、命の大切さや一人一人が大切な存在であることに気付かせる。</li> </ul>	

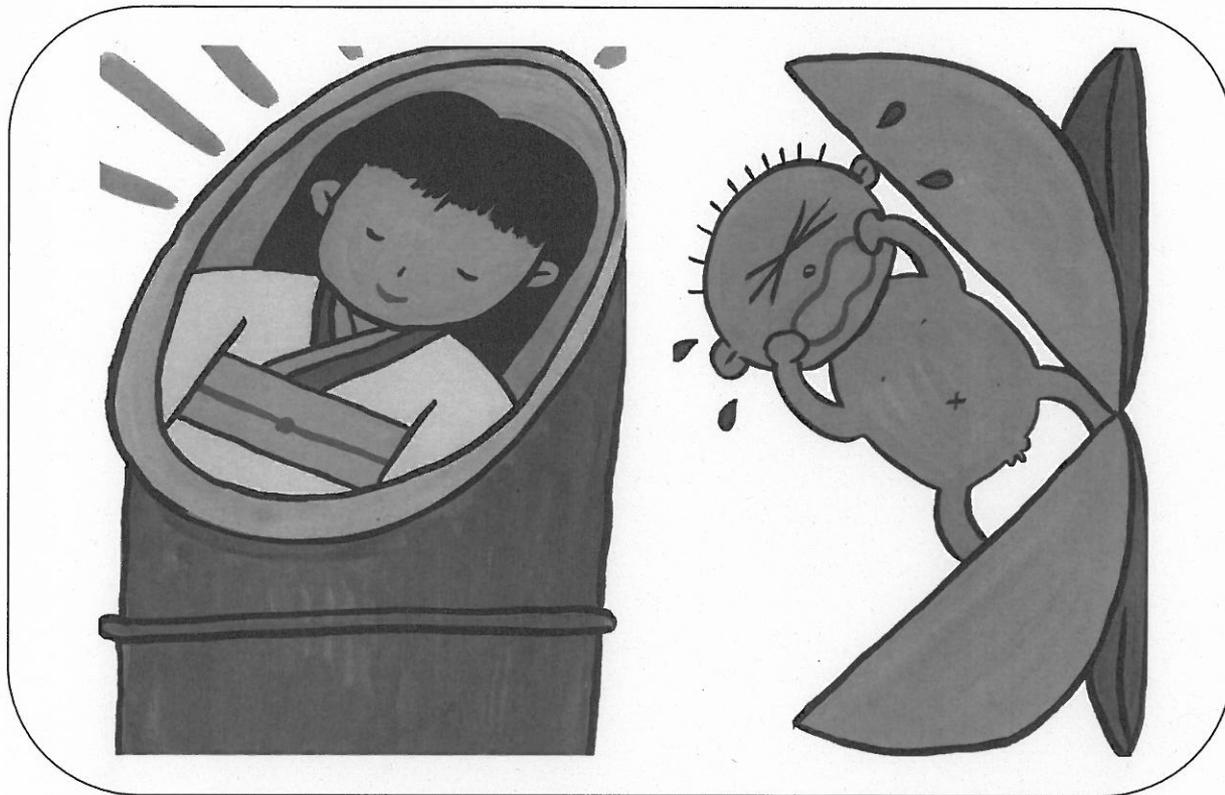
4 他の教育活動との関連

- 生命尊重(道徳)

5 授業の配慮事項

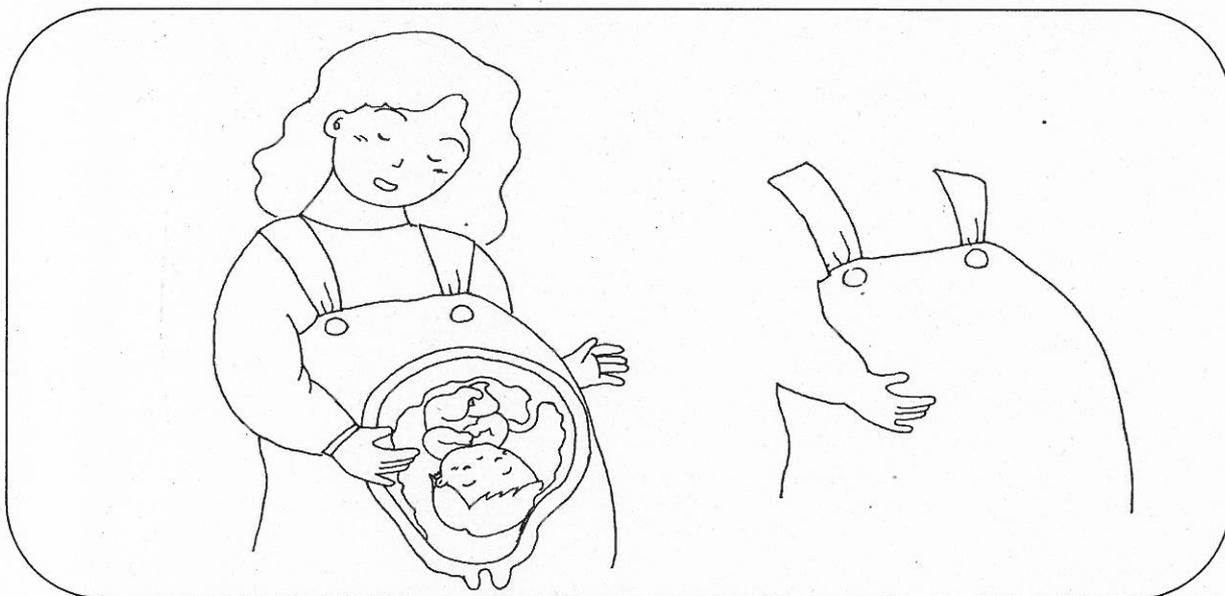
- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。
- 家族からの手紙については、事前に保護者からの十分な理解を得る。

<資料1> かぐや姫・桃太郎の絵



<資料2> 妊婦さんの絵

\*最初に、胎児がお腹にいる絵の上に、洋服のみの絵を重ねて、次に洋服をとると胎児の様子が見えるようにする



<家庭のお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「わたしのたんじょう」でした。  
授業では、お母さんから生まれてきたことを確かめた後、おなかの中での様子や生まれてきた時の様子について学習しました。  
生まれたての赤ちゃん人形を抱いた後、一人一人ご家庭にご協力いただいた手紙を読みました。どの顔も真剣で、嬉しそうに、そして、ちょっぴり恥ずかしそうに手紙を読む姿は、とても微笑ましいものでした。  
まとめとして、お子さんがご家族に手紙を書きました。ぜひ、一緒に手紙を読んでいただき、お子さんへの思いや願いを話してあげてください。

小学校 中学年	題材名  <b>テレビ・ゲームとわたしたち</b>
------------	---------------------------------

1 題材について

現代は、情報過多時代と言われるように、様々な情報があふれており、テレビ等のマスメディアがわたしたちの生活や人間形成に大きな影響を与えている。これらの中には、誤った性に関する情報や過激な性描写等、子どもたちにとって好ましくないものも含まれている。しかしながら、この期の児童は、判断力や情報選択の能力がまだ十分でないため、与えられた情報を鵜呑みにしてしまいがちである。そこで、特に児童の生活と密着しているテレビやゲームからの情報に対する判断力、選択する能力を養うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ テレビやゲームの情報の受け止め方について考え、自分にとって必要なものを選ぶことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 好きなテレビ番組やゲームについて話し合う。 ・アンケート結果をもとに行う。	○ 予めアンケートをとる等して「なぜ好きか」「どんなところが面白いのか」等自由に意見を出させる。	
展開	2 テレビやゲームの良いところ、良くないところについて話し合う。  ○ 良いところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らなかったことが分かる。 等</li> <li>・おもしろい。</li> </ul> ○ 良くないところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・人がむやみに殴られたり殺されたりする。</li> <li>・エッチな表現がある。</li> <li>・真似してみたくなる。 等</li> </ul> 3 テレビを見る時、ゲームをする時に気を付けることを話し合う。 ・すべての情報を鵜呑みにしない。 ・良い情報を選ぶ。 ・健康に気を付ける。 等	○ 悪い面だけを強調しないようにする。 ○ 暴力、殺人の場面は生命軽視につながることを押さえる。 ○ 軽率な言葉づかいや態度をまねることが、時に周囲を不快にすることに気付かせる。 ○ 視聴率や購買意欲を高めるために誇張された表現や、過激な場面が多いことを知らせる。	・ワークシート <資料1>
終末	4 学習のまとめをする。 ・漫画やインターネット、携帯電話への対応について知る。	○ 他の情報源についても同じことが言え、判断して選択する必要があることを知らせ、実践化を促す。	・ワークシート <資料1>

4 他の教育活動との関連

○ 情報（総合的な学習の時間）

5 授業の配慮事項

○ 情報には有益なものも含まれ、すべてが不適切ではないということを十分に踏まえる。

名前 ( )

1 テレビやゲームのよいところは？

《テレビ》	《ゲーム》
-------	-------

2 テレビやゲームのよくないところは？

《テレビ》	《ゲーム》
-------	-------

3 今日の学習を通して分かったことや思ったことを書きましょう。

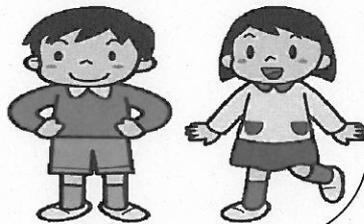
-----

-----

-----

-----

-----



<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は、「テレビ・ゲームとわたしたち」でした。子どもたちが日頃よく見ているテレビや行っているゲームの良いところや良くないところについてみんなで考えました。  
テレビやゲームは、自分のためになるものもあるけれど、性に関する不適切な情報等、ためにならないものもあること、テレビを見たりゲームをしたりする時には、必要な情報を選択したり、内容や時間を考えてしたりすることが大切であること等を学習しました。ご家庭でも、テレビやゲームの楽しみ方について、約束ごとを決める等、もう一度ご確認ください。

小学校 中学年	題材名  <b>命のつながり</b>
------------	--------------------------

1 題材について

地球上に生物が生まれてから、今日までその命が受け継がれてきた。

自分の命も父母から受け継がれたものであり、父の命はその父母から、母の命もその父母から受け継がれてきたものである。しかし、児童は、命が代々受け継がれていることを改めて意識することはなく、家族によって命をつないでいること、自分たちも将来の命をつなぐ担い手であることを理解させ、命の連続性と尊さについて気付かせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 家族は新しい命を生み出してつないでいることを知り、命の連続性と尊さについて気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 家族の構成について考える。 ・自分の家族 (祖父母、親、兄弟姉妹 等) ・他の家族 (大家族 等)	○ 多様な家族の形態があることに気付かせる。 ○ 両親がそろっていない、兄弟がいない等、各家庭の状況を事前に把握し、十分な配慮を行う。	・家族の絵 <資料1>
展開	2 自分の命の誕生について考える。 ・自分を産み育てた人 ・父母を産み育てた人 ・祖父母を産み育てた人  3 命の連続性について話し合う。 ・自分の先祖 ・自分の子孫	○ 父母がいて自分の命が生み出され、今の自分があることに気付かせる。また、父母にも父母を生み育てた父母の存在があることに気付かせる。 ○ 5代さかのぼると32人、6代さかのぼると64人、10代さかのぼると1024人…多くの人の命を受け継いでいる自分に気付かせる。 ○ 大昔から、人間は命を受け継ぎ、家族を築いてきたこと、また、今後自分達の命を後世に受け継いでいくことの大切さも理解させる。	・家系図(例) <資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・考えたことを発表する。 ・絵本を読む	○ 考えたことについて発表し合ったり、「命のつながり」に関する絵本を読んだりすることによって自分の命も友達の名も、命はみんな大切なものであり、大切ではない命はひとつもないことに気付かせる。	・絵本その他

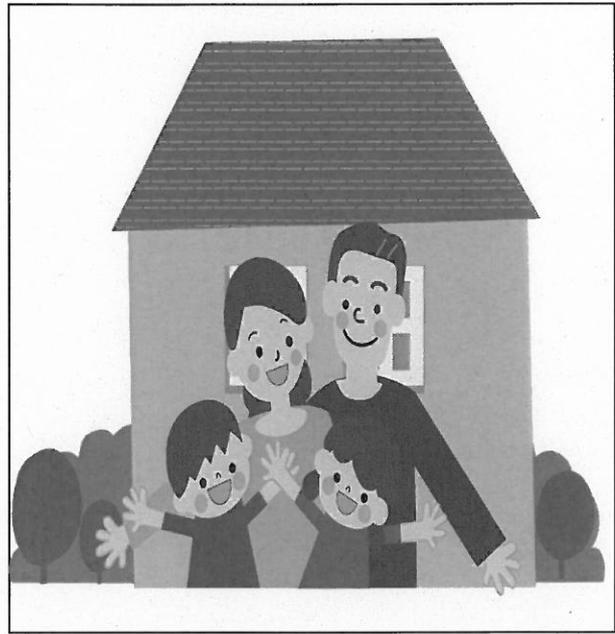
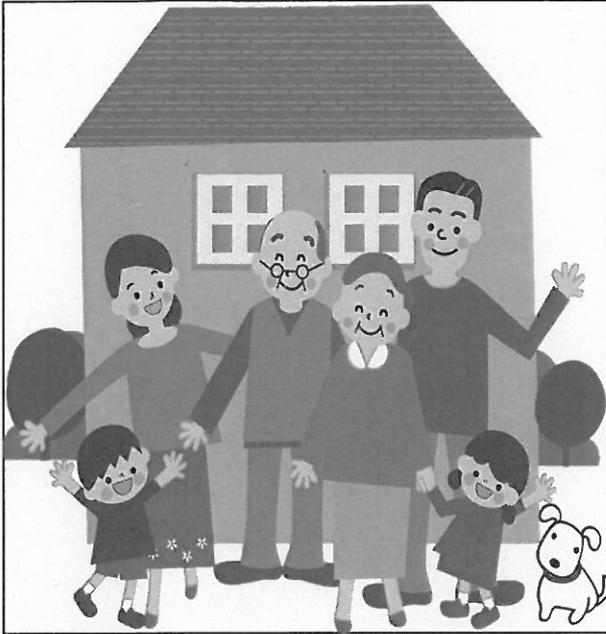
4 他の教育活動との関連

- 生命尊重(道徳)
- 育ちゆく体とわたし(4年体育)

5 授業の配慮事項

- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。

<資料1>家族の絵



<資料2>家系図(例)



1人のぼく・わたしに  
 2人の父母  
 4人の祖父母  
 8人の曾祖父母  
 ・  
 ・  
 5代さかのぼると32人  
 10代さかのぼると1024人  
 20代さかのぼると…  
 命は続いている  
 ずっと昔から  
 これからもずっと…

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
 今回の題材は「命のつながり」でした。  
 性に関する授業では、命の尊さを子どもたちに伝えることを基盤としています。  
 自分の命は、父母によって受け継がれたものであり、父母の命は、祖父母から受け継がれ、祖父母の命は、曾祖父母から受け継がれ…というように、自分の命は何十年も何百年も前から受け継がれてきたものであることを学習しました。  
 この学習を通して、子どもたちは命の連続性や命の尊さに気付いたことと思います。  
 ご家庭でも、おじいちゃん・おばあちゃん、ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんなど、家族のお話をしていただけると、子どもたちはかけがえのない自分の命についてさらに実感するのではないのでしょうか。

小学校 中学年	題材名  <b>命を守る（性被害から身を守る）</b>
------------	-----------------------------------

1 題材について

近年、誘拐や性的いたずら、声かけ事案等、子どもたちが性被害の対象となる犯罪が増えている。しかし、子どもたちは「自分だけは大丈夫」、「子どもは大丈夫」等と他人事として考えている場合も多い。そこで、そのような被害から自分の身を守る行動について理解し、実践できる力を身に付けさせることは重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 声かけ事案の多くは性被害に結びつくことを理解し、自分自身の身を守るための態度や行動を身に付けることができる。

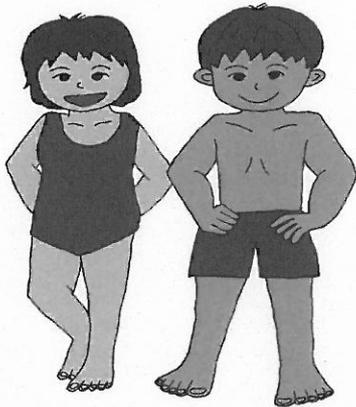
3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 性被害について知る。 ・プライベートゾーン ・性被害 { プライベートゾーンを触られる プライベートゾーンを見せられる エッチな言葉を言われる 等 }	○ 見られたり触られたりしたくないプライベートゾーンについて押さえ、性被害について知らせる。 ○ 地域で実際に起きた不審者情報についても取り上げる。	・男女の水着姿の絵 <資料1>
展開	2 事例をもとに、性被害の予防について考える。 ・Aさんは、被害に遭うのを避けられなかったのか。 ・Aさんは、なぜ誘われたのか。 3 身近な性被害（不審者情報）について知る。 ・時間帯（夕方が多い） ・場所（死角になりやすいところ） ・状況（一人の時） 4 声をかけられた時の対応の仕方を練習する。 ・相手との距離の置き方 ・助けの呼び方 ・逃げ方	○ Aさんは、被害に遭うのを避けられた可能性があることに気付かせる。 ○ このような声かけは、性的ないたずらが目的であることが多いことを知らせる。 ○ 被害に遭いやすい時間や場所、状況をできるだけ作らないことを意識させる。 ○ 自分の身は自分で守れるようになることが大切であることに気付かせる。 ○ はっきり断る、距離をとる、危険を感じたら大声を出す、すぐ逃げる…など実際に練習させる。	・事例 <資料2> ・ワークシート <資料3>
終末	5 学習のまとめをする。 ・「イカのおすし」を確認する。	○ 「ついて <b>イカ</b> ない」 「 <b>の</b> らない」 「 <b>お</b> お声を出す」 「 <b>す</b> ぐ逃げる」 「 <b>し</b> らせる」のポイント 「イカのおすし」でまとめる。	・「イカのおすし」 <資料4>

4 授業の配慮事項

- 必要以上に留守番や下校を怖がったりすることがないようにするため、対応の仕方に重点を置いて実際に練習をさせる。

<資料1> 男女の水着姿の絵



プライベートゾーンは

見ない・見せない  
さわらない・さわらせない  
エッチな言い方をしない

<資料2> 事例

「さようなら」のあいさつが終わってから、Aさんは、友達を待つ間、運動場のブランコで遊んでいました。

友達がなかなか来ないので時計を見ると、4時半になっていました。Aさんは、あわてて校門を出て、一人で帰りました。

「急いで帰らないと・・・。」そう思ったAさんは、近道をして、いつもは通らない人通りの少ない道を急いで帰りました。

しばらくして歩き疲れた時、ふと目の前に知らないおじさんが現われて「急いでいるんだね。お家まで車で送ってあげるよ。乗りなさい。」とやさしく声をかけてくれました。

辺りはずいぶんうす暗くなっていました。Aさんは、「助かった～」と思い、車に乗せてもらいました。・・・が・・・Aさんは、そのまま連れ去られてしまいました。

<資料4> 宮崎県警ホームページより 「イカのおすし」

《イカのおすし》

- ◎「イカ」・・・知らない人についてイカない
- ◎「の」・・・人のくるまにのらない
- ◎「お」・・・おお声をだす
- ◎「す」・・・すぐにげる
- ◎「し」・・・なにかあったらすぐしらせる



<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「命を守る」でした。

近年増えている不審者から身(命)を守る学習です。

一般的な不審者の出やすい時間帯(夕方)・場所(死角になりやすい場所)・状況(一人の時)等を学習し、不審者に遭遇したらどうしたら良いかを考え、実際に練習しました。「知らない人についてイカない」、「知らない人の車にのらない」、「おお声を出す」、「すぐ逃げる」、「すぐしらせる」の5点を「イカのおすし」の合い言葉でまとめました。

ご家庭でも、近所・通学路の危険な場所について、具体的にお子さんと話をしてみましょう。命は一つです。「うちの子だけは大丈夫!」「まだ小学生だから大丈夫!」といった認識は危険です。



名前 (

)

1 Aさんは、なぜ、ひ害にあったのでしょうか。

考えられる理由をできるだけ、たくさん書きましょう。

Blank space for writing answers to question 1.

2 こんな時、どうしますか？

Panel 1: A girl asks a boy with a lollipop, "キャンディーあげるから、おいでよ。" (Give me candy, come here.)

Panel 2: A woman asks a boy with a backpack, "お母さんが病気がらしいから、病院まで車に乗せて行ってあげる。" (My mother is sick, I'll take you to the hospital in my car.)

Panel 3: A boy in a cap asks a girl, "かわいいね。写真をとってあげるよ。" (You're cute. I'll take a photo of you.)

Panel 4: A boy asks a girl, "道が分からないから、いっしょに車に乗って案内してくれませんか。" (I don't know the way, can you get in the car with me and guide me?)

指導事例

小学校 中学年	題材名  <b>男女なかよく</b>
------------	--------------------------

1 題材について

この期の児童は、体の発育の仕方によって体つきや遊びの好み等、男女の違いが顕著になってくる。また、同性同士の集団を形成し始め、結束が強くなる一方で、異性に対しては、反発したり無関心を装ったりする等、互いに意識し始める時期でもある。

このような中、男女が協力し合っていくためには、異性への理解を深め、お互いに協力し合うことが大切である。

そこで、男女がお互いを理解し合い、協力し合いながら楽しい学級・望ましい人間関係を築いていくという態度を育てることが重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 「男女なかよし」の学級づくりのための問題点を整理し、男女がお互いを理解し合い、みんなで協力し合いながら、楽しく生活することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 学級の男女の様子について話し合う。 ・男女が仲よくできる時 ・男女が仲よくできない時とその理由 ・みんなの願い	○ 日常生活の中で男女が仲よくできている時とできていない時があることに気付かせる。 ○ 「男女なかよし」はみんなの願いでもあることに気付かせる。	
展開	2 具体的な場面を設定し、男女が仲よく過ごしていくにはどうしたらよいか話し合う。  ・太郎君の学級の例  ・次郎君の学級の例	○ 2つの学級の例を比較しながら読ませ、結果に違いが出た理由を考えさせる。  ○ 男女が互いに考えを主張するだけでは問題が解決しないことに気付かせる。 ○ 次郎君の学級の場合をロールプレイさせることでお互いの気持ちに共感させる。	・ワークシート <資料1>
	3 男女が仲よく過ごすためには、どんなことが大切か話し合う。	○ 自分なりの考えをもたせるためワークシートに記入させる。	・ワークシート <資料1>
終末	4 学習のまとめをする。 ・考えたことを発表する。	○ 考え方や行動に男女差が出てくる時期ではあるが、男女仲よく協力し合って過ごすことが大切であることを確認させ、実践意欲を高める。	

4 他の教育活動との関連

- 友情・信頼・助け合い（道徳）

5 授業の配慮事項

- 男女の協力や役割分担には、多様なスタイルがあることに配慮する。

## 名前 ( )

☆ 太郎君の学級と次郎君の学級で昼休みに何をして遊ぶかの相だんが始まりました。

### 【太郎君の学級】

- 男子① 「今日はみんなで遊ぶ日だね。何をして遊ぶ?」  
男子② 「サッカーがいい!」  
女子① 「え～。サッカーつまんない。だって、男子だけにボールが回るわ。」  
男子③ 「そんなことないよ!女子が走ってパスをもらいに来ないからだよ～」  
女子② 「けいどろがいいな。だってみんなで楽しめるもの。」  
男子④ 「でも、女子は、おしゃべりばかりしていてつかまえに来ないじゃないか!」  
女子③ 「じゃあ、ドッジボールは?」  
女子④ 「男子のボールは強いから、いっしょにしたくないな。」

### 【次郎君の学級】

- 男子① 「今日はみんなで遊ぶ日だね。何をして遊ぶ?」  
男子② 「サッカーがいい!」  
女子① 「男子はサッカー大好きなものね。でも、わたしたちはサッカー苦手なんだ～」  
女子② 「けいどろはどう?」  
男子③ 「おもしろそうだね。でも、ほかのみんなの意見はどうかかな?」  
男子④ 「ぼくはドッジボールがいいけど…」  
女子③ 「男子のボールは強いからこわいな。」  
男子⑤ 「じゃあ、女子に投げる時にはやさしく投げるよ。それから、女子にもちゃんとボールを回すよ!」  
女子④ 「ありがとう!じゃあ、やってみましょうか!」

↓

何をして遊ぶかが決まらないまま昼休み時間が終わってしまいました。

↓

男子も女子もなかよくドッジボールをして楽しく遊びました。

### ～考えよう～

☆ 男女が仲よくすごすためには、どんなことが大切でしょうか。



Blank space for writing answers to the question above.

### <家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「男女なかよく」でした。

毎日一緒に勉強したり遊んだりしていても、男女が仲よく過ごせたり過ごせなかったりするの、この時期の子どもたちです。そこで、男女が仲よく過ごすためにはどうしたら良いかについて、実際にうまくいった場面とうまくいかなかった場面とを設定して演じてみる等しながら、みんなで考えました。

楽しい学校生活を送るためには、異性に対する理解が欠かせません。この学習を通して、男女が互いに理解し合い、協力し合いながら、さらに楽しい学校生活を送ってくれるようになることを願っています。

小学校 中学年	題材名  <b>命のはじまり</b>
------------	--------------------------

1 題材について

中学年になると、次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経や精通が起こる等、第二次性徴の発現が見られるようになり、自他の体の変化や異性に対する関心をもち始める。

そこで、この期の児童に生命誕生のしくみについて科学的に知らせ、生命の尊さに気付かせるとともに、自他の生命を大切にする心情や思いやりの態度を養うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 人の命は、お父さんの精子とお母さんの卵子が会うことから始まり、母親の胎内で大切に育まれていくことを理解し、自他の生命の大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 赤ちゃんの始まりについて話し合う。 ・産声と赤ちゃん  ・胎児の心音と胎児の絵  ・卵子の大きさ	○ 赤ちゃん→胎児→卵子とさかのぼって考えさせることで、赤ちゃんの始まりを意識付ける。 ○ 胎児の心音から、小さな体（妊娠12週頃）で力強く生きている胎児の姿を感じとらせる。 ○ 卵子の大きさ（約0.1mm）を分かりやすく知らせ、小さな命の始まりを実感させる。	・産声テープ ・赤ちゃんの絵 <資料1> ・胎児の心音 ・胎児の絵 <資料2>
展開	2 命のはじまりについて知る。 ・精子（赤ちゃんのもと） ・卵子（赤ちゃんのもと） 3 お腹の中での成長について知る。 ・羊水で守られている。 ・へその緒でつながっている。 ・長い年月をかけて生まれている。 4 妊娠中の家族の生活を知る。 ・食べ物・運動・休養 ・定期検診 ・家族の支え	○ お父さんの精子とお母さんの卵子が会って命がはじまることを理解させる。 ○ 小さな受精卵が、母親のおなかの中で栄養や愛情を受けながら、約10ヶ月かけて成長していくことを理解させる。 ○ 妊娠中の母親や家族は、胎児の健康に注意しながら過ごすことについて理解させる。 ○ 家族みんなに祝福されて命が誕生することを感じとらせる。 ○ 妊娠中・出産時の苦しみを強調し過ぎないように留意する。	・男女の絵 <資料3>  ・母体のしくみ <資料4>  ・胎児の成長の様子 <資料5>
終末	5 学習のまとめをする。 ・家族への手紙を書く。	○ 学習したことの感想や、家族への感謝の手紙を書かせまとめとする。	・手紙用紙 <資料6>

4 他の教育活動との関連

- 生命尊重（道徳）
- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

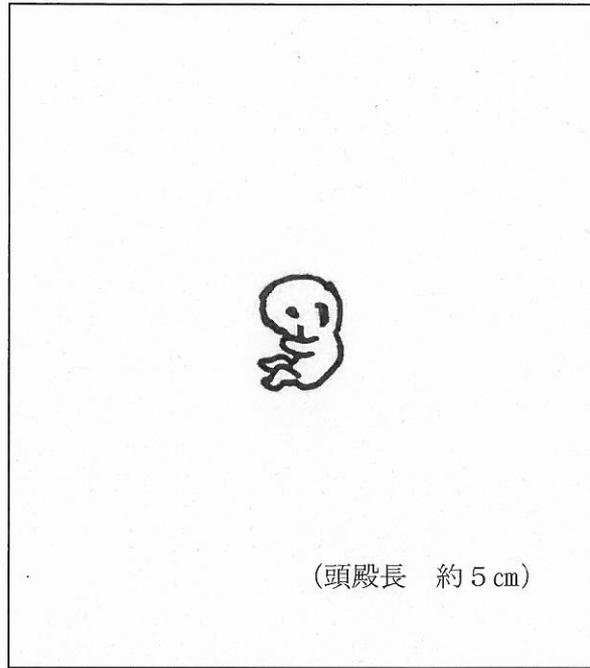
5 授業の配慮事項

- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。
- 性交については、取り扱わない。

<資料1> 赤ちゃんの絵 (新生児)

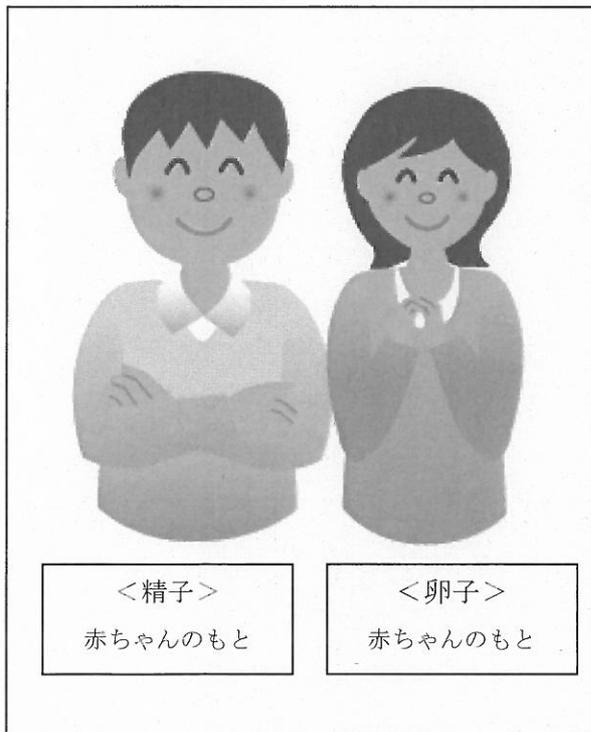


<資料2> 胎児の絵 (妊娠 12 週) 頭殿長約 5 cm

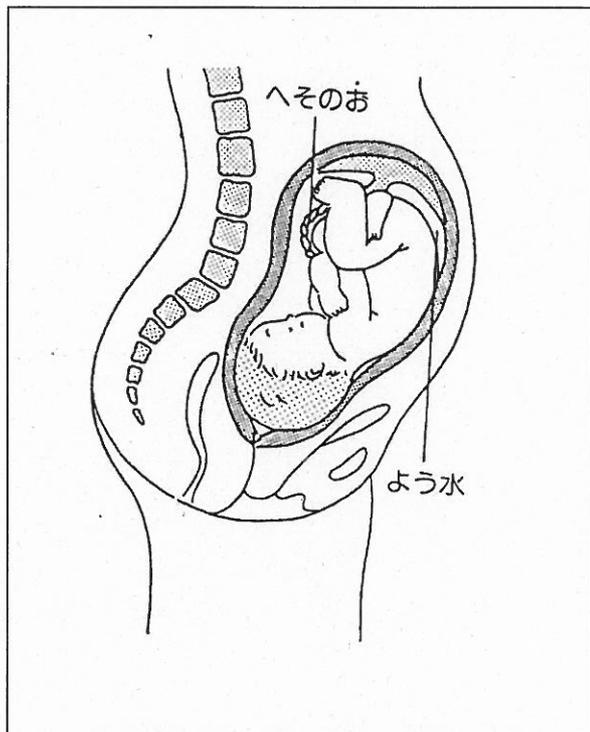


\* 頭殿長：赤ちゃんの頭骨のてっぺんからお尻の突出部の中点までの長さのことです。

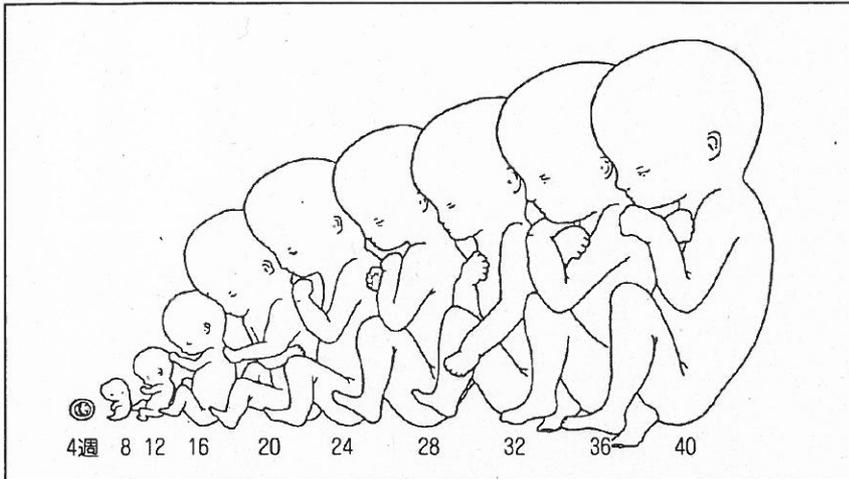
<資料3> 男女の絵



<資料4> 母体のしくみ

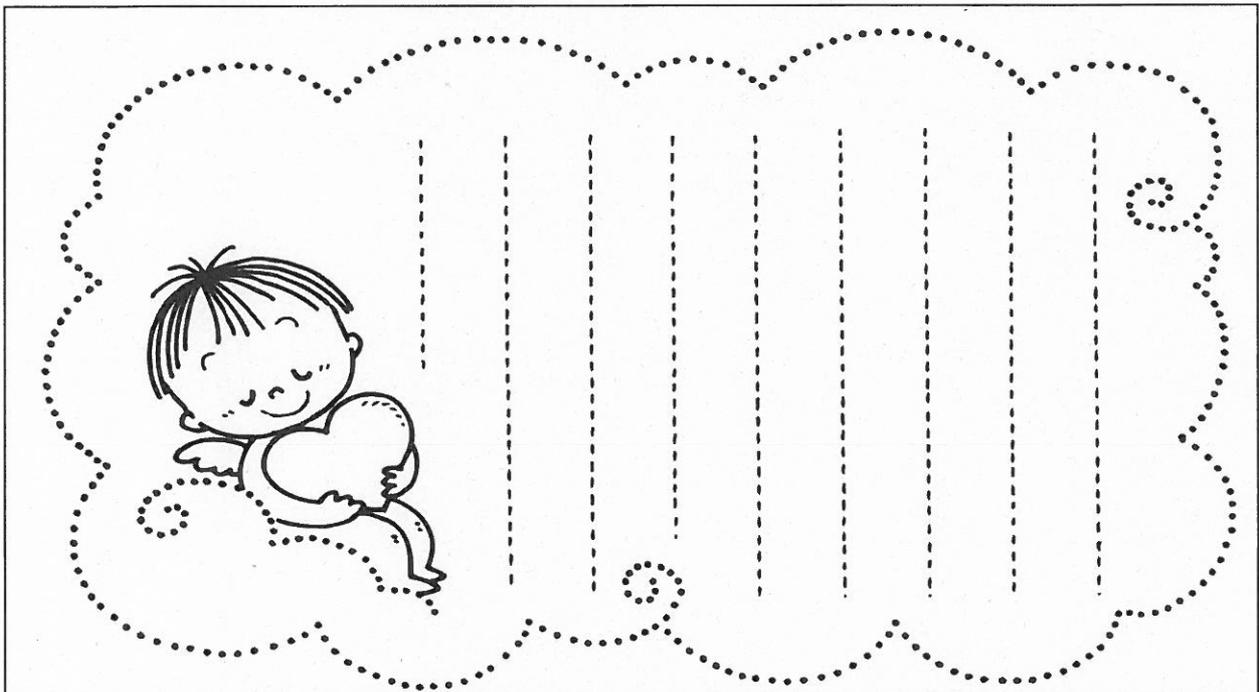


<資料5> 胎児の成長の様子



- ・ 心臓は6週ごろから動き始める。
- ・ 心音は、8週～12週くらいで聞かれるようになる。

<資料6> 手紙用紙 (出町書房許諾番号002111202)



<家庭へのお知らせ>

○月○日 (○曜日) の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「命のはじまり」でした。

お父さんの精子とお母さんの卵子が会うことから命が芽生えること、赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で栄養や家族みんなの愛情を受けて成長すること、赤ちゃんの誕生は、家族みんなの喜びであること等を学びました。

最後の学習のまとめでは、家族にお手紙を書きました。お子さんと一緒に読んでいただき、お子さんがおなかの中にいた時のことや生まれた時のことなど、愛情たっぷりに話してあげてください。

小学校 中学年	題材名  <b>初経（月経）ってなあに？</b>
------------	--------------------------------

1 題材について

4年生の体育（保健領域）の学習の中で、児童は思春期の体の変化のひとつとして、初経や精通が起こることについて学ぶが、実際の手当ての仕方や初経（月経）時の留意点等について詳しく学習することは難しい。そこで、女子を対象に、初経（月経）に対する不安や恐怖心を取り除き、初経（月経）時の手当ての仕方やマナー等について指導することが必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 初経（月経）の起こるしくみや、月経時の手当ての仕方、留意点等を具体的に理解し、実践することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「育ちゆく体とわたし」で学習したことを想起する。 ・初経と精通 ・初経を迎える時期 ・個人差	○ 保健学習を想起させながら、初経を迎える時期には個人差があり、これから数年の間に誰もが迎える大人の体に近づく現象であることを伝え、関心を高めさせる。	
展開	2 初経（月経）が起こる仕組みについて確認する。 ・赤ちゃんのもと（卵子） ・赤ちゃんをおなかの中で育てる準備  3 月経時の手当ての仕方について知る。（必要なもの） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                 ・ナプキン ・サニタリーショーツ                  ・ナプキンやショーツを入れるポーチ             </div> ・手当の仕方 ・マナー ・身体を清潔にすること	○ 初経（月経）のしくみについて確認させる。  ○ 手当の仕方について具体的に理解させる。 ○ 使用後のナプキンの始末の仕方もマナーとして理解させる。  ○ 初経（月経）の時は、担任、養護教諭、母親等、身近な大人に話すの良いことを知らせる。	
終末	4 初経（月経）時に気を付けることについて知る。 ・水泳 ・入浴 ・不快感への対応 ・服装  5 疑問に思うことや不安なことを質問する。	○ 初経（月経）は不快感を伴うこともあるが、病気ではないので心配し過ぎないことを押さえる。 ○ 質問しやすい雰囲気作りに努め、児童の不安を解消する。	
	6 学習のまとめをする。	○ 手当て等の要点を確認し、まとめとする。	

4 他の教育活動との関連

- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

5 授業の配慮事項

- 初経（月経）時の具体的な処置の仕方が主な学習内容であるため、女子だけの指導が望ましい。

指導事例（男子を対象とした指導）

小学校 中学年	題材名  <b>射精のしくみと対応</b>
------------	-----------------------------

1 題材について

4年生の体育（保健領域）の学習の中で、児童は思春期の体の変化のひとつとして、精通や初経が起こることについて学ぶが、実際にそのしくみや対応の仕方等について詳しく学習することは難しい。

そこで、男子を対象に、射精（精通）に対する不安や恐怖心を取り除き、射精（精通）時の対応の仕方やマナー等について指導することが必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 射精（精通）のしくみや対応の仕方、マナー等について具体的に理解し、実践することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「育ちゆく体とわたし」で学習したことを想起する。 ・精通と初経 ・精通を迎える時期 ・個人差	○ 保健学習を想起させながら、精通を迎える時期には個人差があり、これから数年の間に誰もが迎える大人の体に近づく現象であることを伝え、関心を高めさせる。	
展開	2 射精のしくみについて知る。 ・男性器のしくみ（精巣、精子等） ・射精が起こる理由やしくみ（射精、夢精等）  3 射精（夢精）の適切な対応について知る。 ・対応の概要等 ・身体を清潔にすること ・汚れた下着などは自分で洗うこと ・困ったことや、わからないことがあるとき	○ 図を示しながら男性器とその働き等について確認をさせる。ただし、勃起や射精を表した図等は用いない。  ○ 個人差があり、精通を迎えていない児童にも、いずれは経験する時が来ることを理解させる。 ○ 射精が始まるということは、大人の男性に近づいているということを押さえる。	・生殖器を示した図
終末	4 学習のまとめをする。 ・射精の意味や対処の仕方について確認する。	○ ポイントを確認するとともに、自然な成長の過程であることを押さえ、まとめとする。	

4 他の教育活動との関連

- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

5 授業の配慮事項

- 射精（精通）時の具体的な対応の仕方が主な学習内容であるため、男子だけの指導が望ましい。

指導事例

小学校 高学年	題材名  <b>生命の連続とわたしたち</b>
------------	-------------------------------

1 題材について

一人一人は大切な存在であり、自己や他者の命は何よりも大切にされるべきものであるが、児童には、時として命を粗末にする言動が見られることもある。そこで、命の誕生の不思議や神秘に触れさせ、体内での成長や出産の様子を知らせたり、受け継がれている命の大切さを理解させたりすることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 生命誕生のしくみを知り、生命の大切さや連続性について理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 生き物の誕生について知っていることを発表し、動植物の命の誕生について確認する。 ・生活体験から (犬や猫の出産) ・理科の学習から 動物(卵の中の成長、母体の中の成長) 植物(受粉、結実)	○ これまでの生活体験や5年生の理科で学習した内容を想起させ、動植物の例をもとに、命のはじまりについて確認させる。	・様々な生き物の誕生 <資料1>
展開	2 ヒトの誕生のしくみについて確認する。 ・受精のしくみ ・命の継承  3 命のつながりについて話し合う。	○ 精子と卵子が結びつくことによって、命が誕生することについて確認する。 ○ 命は、遠い過去から現在まで受け継がれてきたことを確認させる。  ○ 自分たちにも生命を作り出すしくみがあることを押さえ、これから受け継いだ命を次の世代へ受け渡す立場になっていくことに気付かせる。	・ヒトの受精のしくみ <資料2> ・中学年指導事例 「命のつながり」家系図
終末	4 学習のまとめをする。 ・心のノートの詩を聞く。	○ 感動的な詩に触れさせ、まとめとする。	・心のノートの詩 <資料3>

4 他の教育活動との関連

○ 生命尊重(道徳)、ヒトの誕生(5年理科)

5 授業の配慮事項

○ 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。

<資料1> 様々な生き物の誕生

卵から生まれる動物（卵生）

受精



卵の中にある養分を使って育つ。  
(鳥類だけは親が卵を温めて育てる。)

ふ化



普通、親は何も世話をしない。  
(鳥類はしばらくの間、えさを与えて育てる。)

成長



親と似た姿で生まれる動物（胎生）

受精



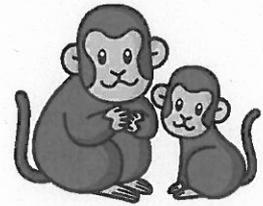
母親の子宮の中で、へその緒を通して栄養をもらう。

誕生



しばらくは母親の乳を飲んで育つ。

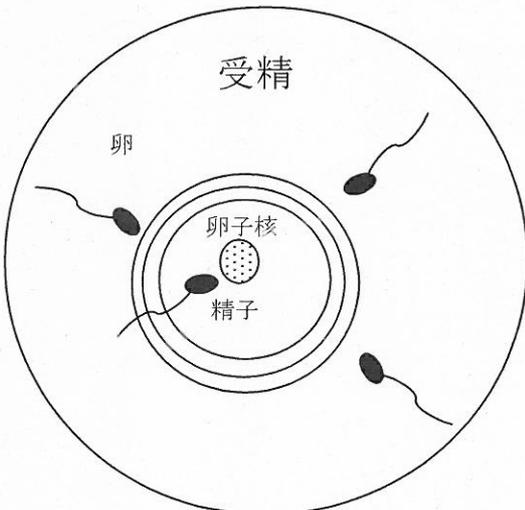
成長



たまごから生まれる動物 (卵生)	魚類	メダカ、キンギョ など
	両生類	カエル、イモリ など
	昆虫	カブトムシ、チョウ など
	は虫類	ヘビ、ワニ など
	鳥類	ニワトリ、スズメ など
親と似た姿で生まれる動物 (胎生)	ほ乳類	ヒト、サル、ウサギ、イヌ、ウシ など

<資料2> ヒトの受精のしくみ

受精



女性の体の中の卵（卵子）が男性の精子と結びつく（受精）と受精卵になり、生命が誕生する。

受精卵は母親の体の子宮の中で育っていく。

その間、胎盤とつながっているへその緒を通して、養分などを母親から受け取り、いらなくなったものを返している。

受精してから約38週間で、母親から生まれてくる。

1つの精子だけが卵子と結びつく

たったひとつの、かけがえのないものを  
わたしたちはもらった。  
花や木にも、動物たちにも、わたしにも  
だれにも平等にたったひとつだけ。

それは  
わたしの力で生かしていくものだから  
そして  
多くのものに支えられているものだから

何よりも大切にしたい  
このいのち。



わたしがいまここにいるのは、奇跡に近いぐう然かもしれない。  
受けつがれてきたいのちのバトンを受け取って、この時代に生まれ  
多くの人たちに支えられ、守られ、こうして大きくなった。  
まるで、ひとりで大きくなったような顔をしているけれど  
実はいろいろなことに感謝しなければならないと思う。  
このいのち、—— わたしのかけがえのないいのち。  
これからもずっとかがやかせていきたい。  
わたし自身のために。  
わたしを支えてくれる多くの人たちのために。

<家庭へのお知らせ>

○月○日 (○曜日) の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は、「生命の連続」でした。

子どもたちは5年生の理科の学習において、動物や人の誕生について学習しています。

また、4年生の保健では、初経や精通についても学習しています。今回は、思春期の体の変化と関連させて、自分たちの体にも生命をつくり出すしくみが次第に整いつつあることを実感させたいというねらいをもって授業を行いました。

学習が、自他の生命を大切にする心や、人格を尊重しようとする態度の育成につながっていくことを願っています。

ご家庭でも是非お子さんの誕生や、受け継がれる命の尊さや神秘等について一緒に話をしてみてください。



指導事例

小学校 高学年	題材名  <b>わたしたちをとりまく性情報</b>
------------	---------------------------------

1 題材について

近年、テレビやコンピュータ、さらには携帯電話等から様々な情報を、手軽に手に入れることができる時代になった。しかし、これらの情報の中には、児童にとって有害と思われるものや、営利目的のものも多くあり、児童への悪影響が心配される。

そこで、性に対する関心が高まり始めるこの期の児童に、自分達を取り巻く性情報がどのような影響を及ぼすかを考えさせ、それらの性情報に対して正しく対処する能力の基礎を培うことが必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 性情報の中には、危険なものがあることを知り、情報の正しい受け止め方や判断の仕方について考え、被害に遭わないための態度を身に付けることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 好きなテレビ番組やマンガを発表する。	○ 理由や内容についても、簡単に発表させる。 ○ 事前にアンケートをとっておくのもよい。	・事前アンケート <資料1>
展開	2 テレビやマンガに含まれる性情報にはどのようなものがあるか話し合う。 ・裸の場面 ・援助交際の場面 ・有害なサイト等に関する情報 ・商品の販売 等  3 テレビやマンガに夢中になることが及ぼす影響について話し合う。 ・男女の関係等に関する誤った認識 ・有害サイト等へのアクセスによるトラブル ・商品の購入に関するトラブル ・依存傾向の発現 等	○ 目をそむけたいくなるような場面やいやな感じがする内容等がないかを考えさせる。 ○ 実際にマンガや雑誌を示す等して身近にも性情報があふれていることを認識させる。  ○ テレビやマンガに含まれる性情報には、暴力的な場面や過激な表現があり、それらに夢中になることは、様々な危険を招くことに気付かせる。	・マンガや雑誌などの実物
終末	4 性情報の悪い影響を受けないためにどのようなことに気を付けるべきか考える。 ・正しい判断力をもつこと ・正確な情報を見極め、選択すること ・興味本位の思考に流されないこと 等  5 学習のまとめをする。 ・性情報に対する考え方等について話し合う。	○ 「教育ネットひむか」のサイトを活用し、体験を通して学ばせる。  ○ 性情報に対する受け止め方や態度について、全員で重点を確認し、まとめとする。	・教育ネットひむか「情報モラル・著作権」のサイト <資料2>

4 他の教育活動との関連

○ 情報関連の内容（5年社会 内容（4）ア、イ）

5 授業の配慮事項

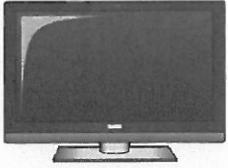
○ 取り扱うマンガや雑誌及び性情報については、児童の発達の段階や実態を十分に考慮して選ぶ。

○ 情報には、有益なものが多く含まれることを押さえる。

<資料1> 事前アンケート調査

**アンケート調査**

年 組 名前 \_\_\_\_\_



1 好きなテレビ番組は何ですか？ その理由も書きましょう。

番組名	好きな理由

2 あなたがよく読むマンガや雑誌は何ですか？

マンガ・雑誌名	好きな理由

<資料2> 教育ネットひむかより（財団法人コンピュータ教育開発センター作成）



**ネット社会の歩き方**

ケータイ、パソコンでどんどん広がるネット社会。  
このサイトでは、ネット社会を楽しく賢く歩いていくための、  
考え方やノウハウを学ぶ各種教材をご提供しています。

小学生 中学生 高校生 先生 大人向け

パソコン 商店街 ネット社会の歩き方 2005年版 ネット社会の歩き方 2001年版 このサイトの使い方

<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は、「わたしたちをとりまく性情報」でした。  
テレビ番組などが、お子さんの言動に悪い影響を与えていると感じられたことはないでしょうか。  
子どもたちが毎日接しているテレビやマンガ、インターネットや雑誌等の情報は、ためになるものも  
多い反面、有害と思われるものも増えてきています。例えば、平気で人を殺したり暴力をふるったりす  
る場面、性的な場面、言葉づかいや態度が悪い場面等、大人から見てチャンネルを変えたくなるものも  
あります。テレビやマンガを見るのが決して悪いことではなく、夢中になり過ぎることで及ぼす影響  
に気付かせ、情報との接し方について考えさせていくことをねらいとして授業を行いました。  
テレビやマンガ等の情報への接し方について、ご家庭でも話題にしていただけると今回の授業もさら  
に効果が高まるものと思います。

指導事例

小学校 高学年	題材名  <b>家族の一員として</b>
------------	----------------------------

1 題材について

社会状況の変化とともに、家族の形態も多様化してきているが、健康で快適に生きるためには、家庭生活をよりよくすることが大切である。身近な生活の中から課題を見出し、解決する上で、男女の違いや家族一人一人の特徴等を十分に理解することは極めて重要であり、自他の尊重という意味において、性に関する教育にもつながっていく。

そこで、第5学年の家庭科で学習する「家庭生活と家族」の学習に関連させ、家庭の仕事や分担について考えさせ、協力したり助け合ったりすることが大切であることに気付かせるとともに、家庭の仕事に主体的に関わっていこうとする態度を育てることには、大きな意義があると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 家庭での自分の役割を自覚するとともに、男女及び個々の違いや特徴を尊重しながら、主体的に家族に協力して、よりよい家庭を築いていこうとすることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備																								
導入	1 家庭内の仕事について、話し合う。 ・主として誰が担っているか ・どのようなものがあるか	○ 自分の生活を振り返り、思いつくものを発表させる。																									
展開	2 自分の家の仕事の分担について、整理する。 <ワークシート例> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">家族 仕事</td> <td style="text-align: center;">母</td> <td style="text-align: center;">父</td> <td style="text-align: center;">ぼく</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">食事のしたく</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">食事の片付け</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">買い物</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">そうじ</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">洗たく</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	家族 仕事	母	父	ぼく	食事のしたく	◎			食事の片付け	○	◎		買い物	◎			そうじ	◎	○		洗たく	◎		○	○ ワークシートにまとめさせる。 ○ 家庭科の学習時にまとめておいたものを使ってもよい。  ○ いろいろな家族の形態を認めていくように配慮する。 ○ 性別で役割を固定するのではなく、お互いのよさや特徴を認め、話し合い、助け合うことが大切であることを確認させる。	・ワークシート <資料1>
家族 仕事	母	父	ぼく																								
食事のしたく	◎																										
食事の片付け	○	◎																									
買い物	◎																										
そうじ	◎	○																									
洗たく	◎		○																								
	3 仕事の分担を見て、気付いたことを話し合う。 ・解決すべき課題 ・家庭生活をよりよくするために必要なこと	○ 各家庭にはそれぞれできあがったシステムがあるため、それを否定するのではなく、これから家族の一員としてどうしていきたいかを話し合わせる。																									
終末	4 学習のまとめをする。	○ これから家族の一員としてどのようにしていこうとするのか、確認させ、実践に向けた意欲を高めさせる。	・ワークシート <資料1>																								

4 他の教育活動との関連

- 家庭生活と家族（5年家庭）

5 授業の配慮事項

- 各家庭の家族構成等実態に配慮する。

年 組 名前 \_\_\_\_\_



**1 家庭の仕事と役割分担を整理してみよう。**

( ◎:主にしている    ○:ときどきしている )

仕事		家族						
		自分						
食 事	作る							
	片付け							
買い物								
そうじ								
洗 た く	洗う							
	ほす							
	たたむ							

**2 上の表を見て、気が付いたことを書きましょう。**

**3 家族の一員として、これからどのようにしていけばよいかを考えてみましょう。**

<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は、「家族の一員として」でした。

家庭での自分の役割を自覚し、男女及び個々の違いや特徴を尊重しながら、進んで家族に協力して、よりよい家庭を築いていこうとする態度を育てることをねらいとして行いました。

今回の学習は、男女の違いや家族一人一人の特徴を理解し、尊重するという意味において、「性に関する教育」とも深くつながっていくものです。

社会状況の変化の中で、家族の在り方が多様化していくことはあっても、家庭生活をよりよくしたいと願う気持ちは変わらないと思います。

授業では、家族の仕事の分担を表に整理し、「分担が固定的なものになっていないか」、「仕事量に偏りがいないか」等様々な視点から改めて見つめ直しました。

子どもたち一人一人に、お互いを思いやり、尊重することの大切さを考え、自分も大事な家族の一員として、家庭の仕事に主体的に関わろうとする態度を育てていきたいものです。

ご家庭でもお子さんの話を聞きながら、一緒に学習を振り返っていただけると、ありがたいです。

指導事例

小学校 高学年	題材名  <b>偏見と差別</b>
------------	-------------------------

1 題材について

この期の児童は「差別をしてはいけない」ということは、頭の中では理解している。しかし、友だちを外見で差別したり、身体的な特徴に偏見をもったりする児童も見られ、そうしたことがいじめにつながる事例も少なくない。そこで、本学習において、病気に対する正しい知識・理解の大切さについて気付かせることは、エイズや性感染症に対して、誤解や偏見なく適切に判断し、行動できる能力や態度の育成にもつながり大変意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 感染症に対して正しく理解し、偏見をもたずに適切な行動をとることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 人から人に感染する病気について話し合う。 ・病名 ・感染経路	○ 自分や周りの人がかかった病気、保健で学習した内容等を想起させる。 ○ 資料を提示し、主な感染症と経路、予防方法等について確認をさせる	・主な感染症と感染経路 <資料1>
展開	2 感染症に関する差別や偏見の事例を知る。 ・エイズと闘ったライアン・ホワイト君  3 病気を理由に差別を受けている人々の気持ちについて話し合う。 ・正しく理解することの大切さ ・差別の理不尽さ  4 身近な差別や偏見について考える。 ・病気に対して ・身体的特徴に対して	○ 感染経路を知り、適切な予防策を行えば感染の恐れはないことを確認させる。  ○ 自分の考えをワークシートに記入させ、全体で意見を交換し合う。 ○ 正しい知識をもたずに、思い込んだり、決めつけたりすることから差別や偏見が生じていることを理解させる。  ○ 自分の周りにある差別や偏見について発表させる。	・エイズと闘ったライアン・ホワイト君 <資料2>
終末	5 学習のまとめをする。	○ 多様な差別があることに気付かせ、正しい知識に基づいて判断することや、差別や偏見を許さない断固とした姿勢の必要性について確認させる。	

4 他の教育活動との関連

- 病気の予防（6年体育）
- 公正・公平・正義（道徳）

5 授業の配慮事項

- 病気や身体的な面で悩んでいる児童がいないかを事前に把握しておく。
- 第6学年体育「病気の予防」の学習をした後に行うことが望ましい。

<資料1> 主な感染症と感染経路

\*病原体がもとになって起こる病気

○インフルエンザ	○水ぼうそう	○エイズ	○食中毒
○風しん	○日本脳えん	○結かく	○とびひ
○麻しん (はしか)	○肝炎	○破傷風	○百日咳
○おたふくかぜ	○感染性胃腸炎	○せきり	

\*人から人へ感染する主な感染症

感染症名	感染経路	予防対策 (例)
エイズ (HIV)	性的接触、血液感染、母子感染	性的接触をしないこと
結核	空気感染	
インフルエンザ	飛沫感染、接触感染	手洗い、マスクの着用、うがい
感染性胃腸炎	糞口感染	手洗い、消毒
麻疹	空気感染、飛沫感染、接触感染	予防接種
B型肝炎	母子感染、血液感染、性的接触	性的接触をしないこと 予防接種
C型肝炎	血液感染	

<資料2> エイズと闘ったライアン・ホワイト君

ライアン・ホワイト君の話は聞いたことがあるでしょうか。彼は、血友病の治療でエイズウイルスに感染したのです。13才になってまもなく、肺炎で病院に担ぎこまれました。

ホワイト君を診察した小児科のクレイマン医師は、しばらく考え込み、やがていいにくそうに口を開きました。「お気の毒ですがエイズにおかされています。あと3~4か月の命です。」

当時はまだ、エイズに対する正しい知識も情報も不足していました。エイズはどのように感染するかさえ知られてなかったのです。アメリカ全土が得体の知れない病気におどらされ、パニック状態にありました。ホワイト君は入学を拒否されました。やがて教室に設けられた電話を通して、自宅で授業を受けるありさまです。ようやく復学は認められたものの、依然、偏見は強く、「エイズ野郎はでて行け!」、「ヤツと同じ空気を吸わなきゃならないなんて、ゾッとするぜ。」などの罵りにじっと耐えなければなりません。彼は町を離れ、インディアナ州のシセロという町に移りました。ここではホワイト君は特別扱いされませんでした。彼が選んだハミルトンハイツ高等学校では、全校をあげて正しいエイズ教育が行われました。ちょうどそのころ、新薬AZTが登場し、そのおかげでホワイト君は外見上は健康な青少年とほとんどかわらないまでに回復しました。

ホワイト君は、エイズ患者やエイズウイルス感染者に対する偏見をなくすために積極的に活動に取り組みました。テレビや雑誌、さらにアメリカ議会の公聴会にも登場し切々と訴えました。

「エイズ患者だって、普通の人と同じように充実した人生をおくる権利がある。どうか差別も特別視もしないでください。」その声明は全米中に感動を与えました。

しかし、インディアナ大学入学の希望ははたせず、1990年4月に亡くなりました。彼の生き方は、エイズに対する誤解や偏見、差別をなくすことに大きな貢献をはたしました。学校がエイズ感染者を受け入れるようになり、国をあげてエイズ予防教育に取り組むきっかけとなったのです。

ホワイト君はいいました。「僕を排除した人達は、エイズを知らなかったからだ。」この一言に、エイズに対する誤解・偏見・差別を取り払う鍵がこめられています。

<家庭へのお知らせ>

○月○日 (○曜日) の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は、「偏見と差別」でした。

病気や外見等に対して偏見をもったり差別をしたりしないためには、正しい知識や理解が必要です。

そのため、実際に偏見や差別を取り扱った資料を使い、病気を理由に現在も差別を受けている人がいる現状について考え、誰にでも分け隔てなく接し、偏ったものの見方や考え方を避け、偏見や差別をなくすことの大切さについて学びました。ご家庭でもお子さんと一緒に学習を振り返っていただくと、意識を一層高めることができるものと思います。

指導事例

中学校 1年生	題材名  <b>出会い系サイトの背後に潜むもの</b>
------------	-----------------------------------

1 題材について

社会の状況も大きく変化し、携帯電話やインターネット等の普及により性に関わる情報の入手が容易な時代となり、それに伴い、性的な逸脱行動等の問題や、性に関する事件等も複雑化、深刻化している。また、生徒の日常の生活から体験的な活動が減ったり、多忙化が顕著になったりする等、自尊心が十分に育まれにくいという状況の中で、自分を大事にする行動がとれない生徒も見られる。そこで、インターネットや携帯電話を介して起こる様々な性に関わる問題について、どのような行動選択をすべきかを考えさせ、その対処方法を身に付けさせることは重要であると考え、本主題を設定した。

2 ねらい

出会い系サイトの利用は、犯罪に巻き込まれる危険性が高いことを理解させ、自分の身を守るために正しい情報や行動を選択することができるようにする。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	1 学級の携帯電話の所持者数やインターネットを利用した経験等について知る。  2 インターネットや携帯電話を使った性の犯罪について知る。	○ 学級や学校の実態等について理解させる。 ○ 日常化している情報技術を使った性犯罪を資料から学ばせる。 ○ 自分の身近に生じていることに気付かせる。 ○ 出会い系サイトについて説明し理解させる。 ○ 情報技術は便利だが使い方によっては、危険を伴うことに気付かせる。	・事前の調査をまとめた資料 ・警視庁サイバー犯罪対策資料 <資料1> ・警視庁サイバー犯罪対策資料 <資料2>
展開	3 出会い系サイトへの対処方法について話し合う。～① ・知らない人からの突然のメールにどう対応したらよいか ・自分ならどう行動するか  4 出会い系サイトへの対処方法について話し合う。～② ・覚えのない通話料金を請求された場合 ・電話やメールがひっきりなしに入ってくる場合	○ ワークシートの事例を踏まえグループごとに考えさせる。 ・選択した行動と理由を考えさせる。 ・気付かぬうちに性犯罪に巻き込まれる危険性があることに気付かせる。 ○ 興味本位や軽率な行動が危険を招くことを理解させる。  ○ 携帯電話やインターネットなどによる犯罪の防止には、責任ある行動をとる自覚が大切であることを理解させる。 ○ 実際に被害に遭った場合には、すぐに警察等に相談することが大事であることを理解させる。	・ワークシート 「こんな時どうする」 <資料3> 事例① ・ワークシート 「こんな時どうする」 <資料3> 事例②
終末	5 学習のまとめをする。 ・身近に起こった犯罪について知る。(声かけ事案等)  ・相談窓口等について知る。	○ 自分の身近に生じている事件等に目を向けさせ、危険と隣り合わせであることを認識させる。 ○ 出会い系サイトの問題性や通報・相談方法等について確認し、まとめとする。	・警視庁サイバー犯罪対策資料 <資料4>  ・巻末資料 (相談窓口)

4 教科・領域等との関連

- 心身の機能の発達と心の健康（1年保健体育）

5 授業の配慮事項

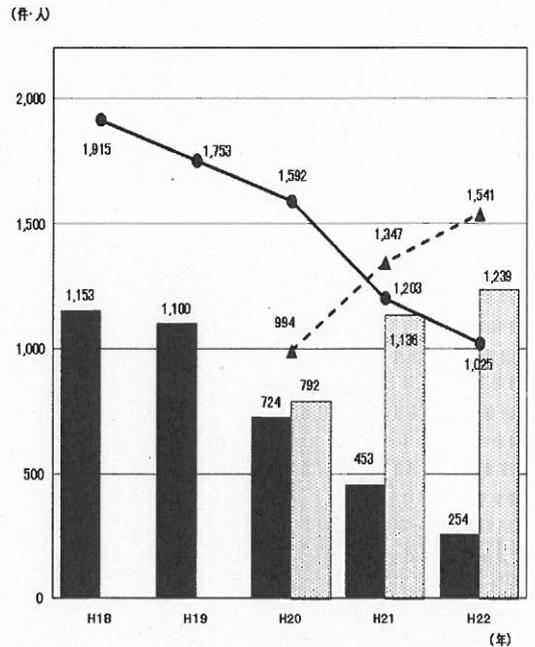
- インターネットや携帯電話の利用、所持について学級の実態を予め把握しておく。
- 最近のIT関連犯罪資料（新聞、警視庁のホームページ等のインターネットの資料など）を参考にする。

<資料1> 平成22年中の出会い系サイト等に起因する事犯の検挙状況について

<コミュニティサイトに起因する事犯の検挙状況>

1 出会い系サイトに起因する事犯の検挙状況等

- 平成22年中の出会い系サイトに起因する事犯の検挙件数は1,025件（前年比-178件、-14.8%）。減少した主な罪種は、児童買春が254件（-104件、-29.1%）、青少年保護育成条例違反が53件（-96件、-64.4%）。
- 検挙件数1,025件のうち、出会い系サイト規制法違反が412件（前年比+59件、+16.7%）と最も多く、検挙全体の40.2%。412件のうち、禁止誘引行為は404件（+56件）、そのうち、児童による誘引は284件（+62件）。412件のうち、事業者による法令違反は8件（+3件）（いずれも届出義務違反）
- 事業者に対する指示処分は4件（前年比+3件）（児童でないことの確認義務違反2件、変更届出義務違反1件、児童でないことの確認義務違反及び変更届出義務違反1件）。
- 出会い系サイトを利用して犯罪被害に遭った児童は254人（年比-199人、-43.9%）。被害の多い罪種は、児童買春が151人（-87人、-36.6%）、青少年保護育成条例違反が42人（-71人、-62.8%）、児童福祉法違反が34人（-24人、-41.4%）。



2 コミュニティサイトに起因する事犯の検挙状況等

- 児童がコミュニティサイト（出会い系サイトを除く。以下同じ。）を利用して犯罪被害に遭った事犯の検挙件数は1,541件（前年比+194件、+14.4%）。
- 犯罪被害に遭った児童は1,239人（前年比+103人、+9.1%）。被害の多い罪種は、青少年保護育成条例違反が772人（+45人、+6.2%）、児童買春が214人（-20人、-8.5%）、児童ポルノが180人（+79人、+78.2%）。

（警視庁サイバー犯罪対策HPより）

<資料2> 出会い系サイト事件簿

● 強盗・誘拐・強姦事件

携帯電話の出会い系サイトを通じて知りあった男性にドライブに誘われたところ、自動車内に監禁されたばかりか、現金を奪われ、両親に身代金まで要求されてしまいました。

出会い系サイトでのメールの交際だけでは、悪人でもわかりません。友達と一緒にだからといって安心してはダメ！誘われてついていったらそれが命とりになります。



● 不正誘引・児童買春周旋事件

出会い系サイトの掲示板に書き込みをしたところ、だまされて性風俗店に連れていかれ、売春をさせられてしまいました。

ほんの軽い気持ちでも、出会い系サイトの掲示板に書き込みをすると恐ろしいワナが待ち受けています。お小遣いをくれるからというおいしい餌は特に危険。会ってしまったらでは取り返しがつきません。



（警視庁サイバー犯罪対策HPより）



## こんな時どうする



年 組 番 氏名

### 事例①

1 あなたは、突然こんなメールをみたらどうしますか。

「メル友募集中、私は女の子で、〇〇にはまっています。  
誰かメールください。」

「はじめまして、なごみ系の俺は楽しいことを探すのが得意です。  
メル友募集中！」

① どのように行動しますか。

② それはどうして(理由)

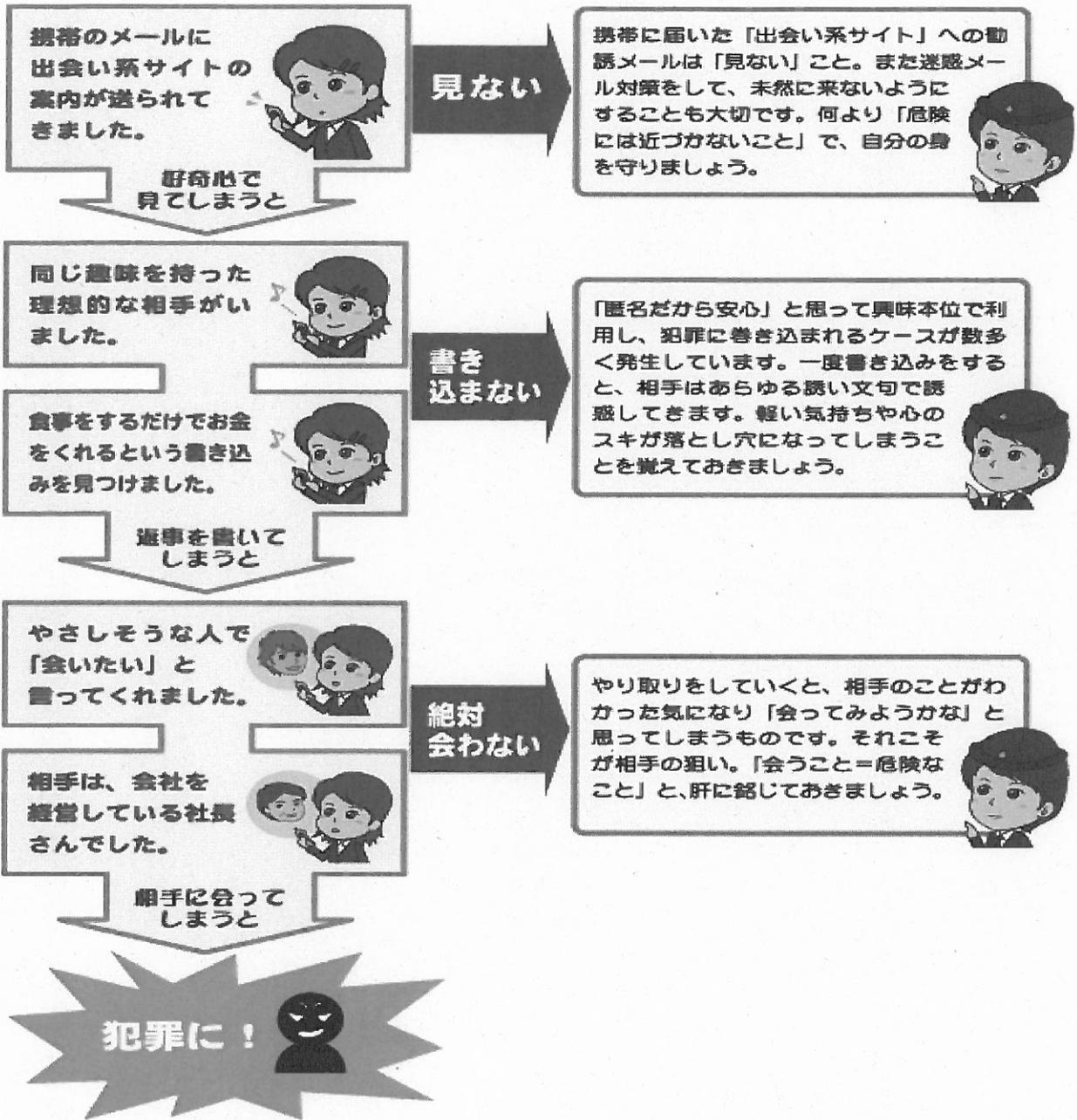
### 事例②

2 私の名前や自宅の電話番号、携帯電話の番号、メールアドレス等が「掲示板」や「出会い系サイト」に掲載されたため、見ず知らずの人から電話やメールが入って困っている。

\*どうすれば予防できると思いますか。

3 本時の授業で学んだことをどう生かしていこうと思いますか。

<資料4> 身を守るためのルール



(警視庁サイバー犯罪対策HPより)

指導事例

中学校 1年生	題材名  自分らしさ
------------	------------------

1 題材について

思春期は、心身の発育発達が顕著であるとともに、性に関する不安や憧れ、恥ずかしさや怖さなど、様々な感情が発生し、情緒が不安定になる時期でもある。こうした状況は、大人へと成長するための大切な過程であるが、時として、興味や関心が高じ、誤った性情報やいわゆるピアプレッシャー等と相まって、性的な逸脱行動につながることもある。

そこで、思春期には、個人差はあるものの、誰しも性に対して、似たような興味や悩みをもつことを理解させ、性に関する正しい知識に基づいて適切に判断することや、自己の行動に責任をもつこと、かけがえのない存在である自他を尊重すること等の大切さに気付かせ、適切に対処していくことのできる能力や態度を身に付けることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 思春期の性に関する不安や悩み、様々な問題等について話し合い、適切に対処しようとする態度を身に付けることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 ピアプレッシャーについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 性行動を行うことが普通だとする仲間からの圧力をピアプレッシャーということを知らせ、思春期の集団の中に発生することを伝える。</li> <li>○ いくつか具体的に例示し、プレッシャーについて実感させる。</li> </ul>	
展開	2 ピアプレッシャーについて考える。 ・ピアプレッシャーをどう思うか。  3 ピアプレッシャーについて話し合う。 (問題点) ・誤った性情報の影響 ・他と比べ焦る気持ちの影響 ・自分の思いこみなど心理面の影響 ・誘い等に対応するスキルの欠如 (対処方法) ・友達に相談する ・大人に相談する ・情報を見極める ・自分を大切にする ・友達を思いやる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理由を明確にしなが、各自ワークシートにまとめさせる。</li> <li>○ 男女別のグループを作り意見交換をさせる。</li> <li>○ 話し合ったことをグループごとに発表させ、話し合いを通して、問題点や対処方法について整理する。</li> </ul>	・ワークシート
終末	4 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報を見極め、正しい知識を身に付けることや自他をかけがえのない存在として尊重する観点から判断することの大切さを伝え、まとめとする。</li> </ul>	

4 他の教育活動との関連

- 自他の尊重 (道徳)
- 性的な発達への対応 (学級活動)

指導事例

中学校 1年生	題材名  <b>大人への第一歩</b>
------------	---------------------------

1 題材について

子どもから大人へと変わっていく過程である思春期は、とても不安定な時期で、体の変化とともに心も大きく変化する。友人関係や学校、親、社会のことなどで、感情のコントロールがうまくいかず、何かにあたったり、中には無気力傾向に陥ったり、非行に走ったりする者も見られる。

そこで、思春期というこの大切な時期に、自他の成長について客観的にとらえさせたり、異性や親、友人とのより良い関係を保ちながら生きていくために必要な態度等について考えさせたりすることは、大変意義深いと考え、本主題を設定した。

2 ねらい

- 思春期にさしかかった自他の成長について認識し、これからのよりよい生き方について理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	1 思春期にさしかかった自分について考え、話し合う。 ・大人と子どもどちらにあてはまるか。	○ 自分の考えを理由を添えて発表させる。 ○ 自分自身を見つめさせ、友達の考えに触れさせることによって、自分が大人への過渡期にあることを認識させる。	
展開	2 自分に見られる大人の特徴、子どもの特徴について考える。 ・大人の特徴 ・子どもの特徴 ・どちらか判断しにくいところ  3 思春期の中にいる自分や友達の内や体、行動の状況について話し合う。 ・いろいろな変化(体、心、言動など) ・生活する上で心掛けたいこと	○ 身体的な違いだけでなく、心理面や精神的な面、言動の傾向等幅広く考えさせる。  ○ 学習活動2で考えたことや資料1をもとに、話し合わせる。  ○ 話し合いを通して、この時期は心身共に大きく変化し、新たな不安や悩みが生じたり、情緒が不安定になったりすることに気付かせる。	・「中学生の心」 <資料1>
終末	4 学習のまとめをする。	○ 思春期の変化は、個人差はあっても、誰にでも起こることを確認するとともに、自他の不安や悩みに途惑いながらも希望をもってその解決を目指そうとする態度が重要であることを伝える。	

4 教科・領域等との関連

- 人間愛・思いやり(道徳)

5 授業の配慮事項

- 資料1「中学生の心」のアンケート結果は県内A中学校の例としているが、授業を実施する前に自分の学級の実態を把握する等の工夫をする。

<資料1> 「中学生の心」 ～小学生の頃とどこが変わったのか～ (アンケート結果)

「中学生の心」 ～小学生の頃とどこが変わったのか～

県内A中

	心 の 変 化	男子	女子
ア	親に世話をやかれると、うるさいと思うようになった。	68%	74%
イ	自分のものを買うときには、自分で決めたいと思うようになった。	81%	79%
ウ	イライラすることが出てきた。	77%	82%
エ	迷いや不安が出てきた。	32%	48%
オ	劣っている、優れているなどと、人と自分を比べるようになった。	59%	76%
カ	誰かに認められたいと、時々思うようになった。	50%	35%
キ	異性と自由に話がしたいが、話しにくい時がある。	36%	20%
ク	外出する時、服装や髪の毛に気を使うようになった。	32%	71%

指導事例

中学校 2年生	題材名  <b>男女のかかわり（男女の人間関係）</b>
------------	------------------------------------

1 題材について

中学生の時期は、身体的な成熟に伴って性的な発達も著しく、異性に対する興味や関心が高まる時期である。また、性衝動が生じるなどの心理面の変化も見られるようになるが、男女の違いや望ましい人間関係についての理解が十分でないことから、相手を困らせたり、嫌な思いをさせたりするような行動や態度も見られる。

そこで、この時期に、男女のかかわりにはエチケットやルール、マナーが必要であることを理解させるとともに、男女が相互に理解し、尊重し合う態度を養うことが重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 男女の身体面・精神面の違いを知らせるとともに、男女が互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を養うことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	1 「性に関するアンケート調査」の結果を見て、話し合う。 ・アンケートの結果からわかること	○ あらかじめ集計結果を男女別にまとめておく。 ○ 性に対する心理や男女交際に対する考え方には、男女で違いがあることに気付かせる。	・アンケート結果 <資料1> ・ワークシート
展開	2 事例を読んで、話し合う。 ・どのようにアドバイスするか  3 グループで出た意見を発表する。  4 男女交際について考える。 ・エチケット ・ルール ・マナー	○ 男女別に4～5名のグループを作らせ、意見をまとめて発表させる。  ○ 各グループの意見を基にして、付き合い方について、男女の意識の違いに注目させる。 ○ 望ましい男女交際についての友達の考えと自分の考えを比べることにより、特定の異性との関係には、自他の成長や向上を助長するものや向上を妨げるものがあることに気付かせる。	・事例 <資料2>  ・ワークシート  ・ワークシート
終末	5 学習のまとめをする。 ・今後の男女交際について考える。	○ 自分の気持ちだけで異性を求めるのではなく、相手のことを大切に考えることが大事であるということを押さえ、実践化を促す。	・ワークシート

4 他の教育活動との関連

- 心身の機能の発達と心の健康（1年保健体育）
- 男女相互の理解と協力（学級活動）

5 授業の配慮事項

- 事前アンケート調査の結果については、本時の授業のみならず他の場面（道徳や朝・帰りの会等）においても活用することができる。



<資料2> 事例

中学2年生のA子さんは、B君のことについて、誰かに相談したいと思っています。

悩みの内容は・・・・・・・・

B君とは、家も近く小学校からの友だちで、家族ぐるみの付き合いをしている仲でした。中学校に入学してから、同じ学級になり、毎日楽しい中学校生活を送っていました。

私たちの学級は男女の仲がよく、男女を問わずその日の出来事について楽しく会話をしたり、協力したりして学級の色々な活動に取り組んでいました。

B君はその学級の委員長を務めていて、リーダー的な存在でした。

そんな中で、私は、日増しに学級のみんなをぐいぐい引っ張るB君を少しずつ意識するようになり、B君の事ばかりが気になり始めました。

B君とは、音楽の話、友達のことなど何でも話すことができ、一緒にいる時は、時間があつという間に過ぎてしまう気がして、幸せな気持ちでいっぱいでした。

ある日、B君と仲のよい友達四人で遊園地に遊びに行きました。

その帰り、家も近い私たちは二人っきりになる時間がありました。その時、B君が手をつないできました。

私は一瞬ドキッとしましたが、「どうしよう」と思いどきどきしながらそのまま歩き、家の近くで分かれました。

それ以来、B君は帰りに一緒に帰ろうと誘ったり、何気なく体に触れたりするようになり、二人で過ごす時間も増えてきました。

一ヶ月くらい経った頃、B君から、今度の日曜日に家の人が出かけて、誰もいないから家に遊びに来ないかと誘われました。

私はB君の家に行って二人っきりになるのが少し怖い気もするけど、断ると嫌われてしまいそうで悩んでいます。

どうしたらよいでしょうか。



中学校 3年生	題材名  <b>男女の特性と協力</b>
------------	----------------------------

1 題材について

中学生期には、自我の目覚めとともに、性的な欲求が発現し、異性への興味や関心が高まり、異性の友人を求めたいという気持ちをもつようになるが、このことは、自然なことであり人間として大人に向かう過程で誰にでも起こる変化である。

また、これまでは学校や社会において、男女が分けられる場面が多かったが、最近では、男女共同参画の考えから男女共習化や職業選択の幅の広がりなど、性別による制約等は少しずつなくなっている。

そこで、卒業を間近に控えたこの期の生徒に対して、健全な異性観に立った望ましい男女関係の在り方や、性差にとらわれない「自分らしさ」について考えさせることは大変意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 男女の特性や役割を理解するとともに、男女の枠にとらわれない生き方について認め、互いの立場を尊重しようとする態度を身に付けることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	1 アンケート調査の結果について話し合う。 ・男らしさ ・女らしさ	○ 男らしさや女らしさの基準及び根拠等について考えさせる。 ○ 男女のイメージは曖昧なものであり、それにとらわれすぎる必要のないことに気付かせる。	・事前アンケート ・ワークシート
展開	2 男女の在り方について考える。 ・昔の男女の役割や地位 ・現代の男女の役割 ・性差別問題 ・日常にみられる性差に関する問題(言葉の掛け方、家事等の分担)  3 異性に対する言葉掛けについて練習する。 ・ものの頼み方 ・注意の仕方 等	○ 男女の役割や地位等の変遷について、資料で確認させ、現代との違いについて考えさせる。 ○ 具体例をもとに、性差だけを理由に差別することの理不尽さに気付かせる。 ○ 性差に関する過去の制度や習慣等がまだ現代社会や日常生活に影響を及ぼしている場合があることを押さえる。  ○ 具体的な場面を設定し、よい伝え方とよくない伝え方でロールプレイさせ、感じたことを発表させる。	・歴史に見る男と女の役割・地位 <資料1> ・職業名の移り変わり<資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・今後の生き方について考える。	○ 男女の特性等を理解するとともに、性別にとらわれない生き方についても尊重する必要があることを押さえ、実践化を促す。	

4 他の教育活動との関連

- 性的な発達への適応(学級活動)

5 授業の配慮事項

- 指導者が、生徒に適切なアドバイスができるように、特に社会における性差別問題については事前に十分確認しておく。
- アンケート調査及び本時の指導にあたっては、生徒の実態(性同一性障がい等)に十分配慮する。

<資料1> 歴史に見る男と女の役割・地位

男は力仕事、女は子育てだったのかしら？



弥生時代



貴族達の時代



自分の娘も道具として使っなんて。



まるで男中心の世界ね。



武士の時代



明治・大正・昭和・平成



**選挙**

1889年 選挙権は…  
(明22年) 25歳以上の男子

1946年 成人男女が選挙権  
(昭21年) をもつ

子供が産めないというだけで女の人には離婚されたそうよ。



女が外で働かないなんて、とんでもないことだったんだって。



<資料2> 職業名の移り変わり

以前は男性のみの職業 と思われていたもの	・航空管制官 ・タクシードライバー	・トラック運転手 ・大工
以前は女性のみ の職業と思われていたもの	・保育士 ・保健士	・看護師 ・養護教諭 など
名前が以前と変わった 職種	・スチュワーデス → 客室乗務員・フライトアテンダント ・保母 → 保育士 ・看護婦 → 保健婦・看護師・保健士	



教育技術MOOK「だれにでもできる性教育～子どもたちが正しい性の知識を身に付けるために」  
(小学館)より転載

指導事例

高等学校 LHR	題材名  <b>男女の意識と行動</b>
-------------	----------------------------

1 題材について

高校生期は身体、生理面はもちろん、心身の全面にわたる発達が進んでくる。また男女交際をしている生徒も増え、交際に憧れを抱き始める時期である。しかし、相手の心理を十分理解できなかつたり、自己コントロールがうまくできなかつたりして、不安や悩みを抱える生徒も多い。そこでこの時期に、男女の心理の違いを理解させ、相互の人間性を高め、男女交際に限らず、よりよい人間関係を築くために、他人を思いやる心や人格を尊重する態度を身に付けさせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 男女交際について、お互いの個性を理解し尊重し合い、対等な人間関係を築くことの大切さについて理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 男女の性に対する意識や行動について考える。 ・男女の性に対する意識や行動の違い	○ 性に対する意識や行動の男女差や個人差について確認する。	
展開	2 資料1の例から女子高校生の悩みを聴き、彼氏・彼女へのアドバイスを考える。  3 グループに分かれ意見を出し合う。 ・彼氏、彼女はどんな思いだろう。  4 友達の意見や考えを聞いて、男女の意識の違いについて再確認し、互いの理解と尊重が大切であることを理解する。	○ 資料を読み聞かせ、男女それぞれの気持ちを考えさせる。  ○ 生徒の実態に応じ男女一緒、あるいは男女別にグループを作り、資料の事例について意見を交換させる。  ○ 相手が望まない行動や、自分の感情を押しつけることは、相手の人権を無視した行為であり、人間関係を築くためには、互いを理解し尊重することが重要であることを考えさせる。	・女子高校生の悩み <資料>
終末	5 学習のまとめをする。 ・男女交際で大切なことについて考える。	○ 男女関係だけでなく、あらゆる人間関係において、相手を尊重し、思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築いていこうとする意欲付けをする。	

4 他の教育活動との関連

- 生涯の各段階における健康、思春期と健康（保健体育）
- 人の一生と家族・家庭（家庭総合）

5 授業の配慮事項

- 主にグループでの活動になるので、各学校や各年・学級等の実態に応じて意見の出しやすいグルーピングを心掛ける

<資料>

## 女子高校生の悩み

ある新聞に投書された内容を紹介します。

私には彼氏がいます。

友人の紹介で付き合い始めて、もう6ヶ月が経ちました。

彼は私と同じ高校3年生で、勉強や部活動など色々な話題で会話が  
進み、楽しい時間を一緒に過ごせる人です。

彼との付き合いは、3日に1度の電話で1時間ほどお話しするのと、  
1ヶ月に1回、私の家に遊びに来るくらいでした。

彼の友人も一緒に来て、ゲームをしたり、わいわい騒いだりするよ  
うな関係でした。私は彼とのそんな付き合いに、十分満足していました。  
とっても幸せで、彼のことが大好きでたまりませんでした。

この間、彼が「俺の家に遊びに来ないか。」と言ったので、ためらう  
こともなく翌日彼の家に行きました。

彼の家には誰もいませんでした。

私は少し緊張しましたが、いつものように話をしていると、そんな気  
もどこかへ行って、とても楽しい時間が過ぎました。

ところが、冗談を言っているうちに急に強い力で腕を引っぱられ抱き  
しめられて、押し倒されました。

私はびっくりして、半分泣きながら叫んでいました。彼もその声で我に  
返ったのか、私の体から手を離しました。

私は強い口調でののしり、けんかをして家に帰り  
ました。

彼の家であったことは、彼が全面的に悪いと  
は言えません。

私もあまりに無神経だったし、反省しています。

今後、彼とどういふ付き合いをしたら良いのか  
悩んでいます。



高等学校 LHR	題材名 <b>男女の人間関係と自分の気持ちを伝えること</b>
-------------	------------------------------------

1 題材について

高校生になると男女交際をしている生徒も見られるようになり、また、そうでない生徒でも異性との交際に憧れを抱き始めていると思われる。しかし、相手のことを思いやり、お互いが尊敬し合えるような人間関係が築けないことから、他者や特に異性との関わりにおいて、自分勝手な言動が思わぬひずみを起こしたり、関係を壊したりする場合もある。

このようなことから、この時期に、お互いが理解し合い、互いに高めていくことができる人間関係を築くためのポイントや、相手への自分の関わり方が真に相手の立場を尊重するものになっているのか、また、相手に自分の気持ちを伝えるときに、どのような方法で伝えたら良いのか等について、具体的に考えさせることは重要なことである。そこで、生徒一人一人に男女関係に限らず幅広く多くの人と適切な人間関係を築こうとする態度を身に付けさせることには大きな意義があると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性関係だけでなく、どんな人間関係においても相手を思いやる気持ちが大切であることを理解し、自分の気持ちを相手に伝えるための具体的な方法を身に付けることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「男女の意識と行動」の学習を想起する。	○ 性に対する意識や行動には、個人差や男女差があることを想起させる。	
展開	2 グループワークⅠ (1) 「あるカップルのやりとり」を読んで自分の考えをまとめる。 ・自分の意見について ・二人の良くないところについて等 (2) 個々の感想や意見について話し合う。 ・他者の意見や考え方を知る。 (3) グループごとに意見を発表する。	○ 自分の感想や意見をワークシートに書かせる。 ○ グループで発表する前に自分なりの意見を必ずもたせる。  ○ 4人程度のグループを作らせ、感想や意見を交換させる。 ○ グループの代表者にみんなの意見をまとめて発表させる。	・ワークシート ①<資料1>
展開	3 グループワークⅡ (1) 「ケース1」「ケース2」について自分の意見をまとめる。  (2) グループに分かれて個々の意見について話し合う。  (3) 学級全体で話し合う。	○ 自分の考えをワークシートに書かせ、自分の気持ちを相手に伝えるための具体的な方法について理解させる。 ○ 他者の意見を聞き、色々な考えがあることに気付かせる。 ○ グループごとに発表させ出された意見について、全体で協議する。	・ワークシート ②<資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・相手を尊重した気持ちの伝え方について確認する。	○ 自分の言動について振り返らせ、男女の関係に限らずよりよい人間関係を築いていくために必要な事柄について、具体的にまとめさせ実践を促す。	・ワークシート ②<資料2>

4 他の教育活動との関連

- 社会と情報（情報）

5 授業の配慮事項

- 学級の状況に応じて男女一緒や男女別など、活発な意見交換がなされるように配慮する。
- 本事例と同様のことで悩んでいる生徒がいることも考慮する。

### あるカッパルのやりとり



B男：今度の日曜日に会わないか？  
A子：う～ん、その日悪いけど部活なんだ。  
B男：部活なんてさぼればいいじゃん。  
A子：でも試合が近いから、やっぱり行かないと…。  
B男：おい、お前。何考えてんだよ！俺と部活とどっちが大事なんだよ。  
A子：でも今度の試合、大事な試合なんだよ。負けたくないし…。  
B男：どうせ練習したって勝てるわけないよ。練習しても無駄だよ。  
俺がやめろって言うてるんだから、部活に行くのはやめろよ。  
A子：わかった…。そんなに言うなら部活には行かないわ。

1 二人のやりとりを読んで、どう思いましたか。感想を書きましょう。

2 二人の言い方でそれぞれよくないと思うところはどこですか。

3 B男は、どんな言い方をすればよかったですか。

4 A子は、どんな言い方をすればよかったですか。

5 二人がどんな関係に変わっていったら良いと思いますか。

6 グループでみんなの意見を聞いてどう思いましたか。感想を書きましょう。

1年 科 番 氏名

### あなたはどのように自分の気持ちを伝えますか？

二つの場面（ケース1、ケース2）を見て、自分の気持ちを相手に伝えるとしたら「メール」それとも「会って直接自分の言葉」のどちらが良いと思いますか？それぞれについてあなたの感想を書きましょう。

ケース1

「うそをついて、ごめんなさい」

「私の方こそ ごめんなさい」

「メール」それとも「会って直接？」

どちらを選ぶ？

選んだ理由・感想

ケース2

「俺、おまえのこと好きなのかも…」

「ありがとう」

「メール」それとも「会って直接？」

どちらを選ぶ？

選んだ理由・感想

グループでの話し合いに出た意見や感想を聞いて、あなたはどんなことを感じましたか。

指導事例

高等学校 LHR	題材名 <b>性感染症と私たち～WYSH教育より～</b>
-------------	----------------------------------

1 題材について

近年、クラミジアや淋菌感染症等の性感染症が増加し始め、これらの性感染症は無症状であることが多いため、若い女性を中心に相当な流行が起こっていることが推測されている。

さらに、10代の人工妊娠中絶も増加を続けており、同じ傾向が全国一斉に生じ、中絶と性感染症が同時に急増するという事態が進行してきた。

このようなことから、生徒たちがこれまでに学習した性に関する知識をより深化させ、性感染症・人工妊娠中絶等は、若者にとって身近で、決して他人事ではないリスクであることを認識させ、他者とよりよい人間関係を築くことができる生徒を育成することは重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 性感染症に感染するメカニズムを知り、様々な性情報があふれる現在の日本においては、性感染症が蔓延しつつあることを理解することができる。
- 性行為に伴う様々なリスクを知り、誰にでも可能性のある身近な問題であることを理解することができる。
- 性感染症の拡大を防ぐ観点から、互いを思いやり、性行動に対する賢明な意志決定や行動選択の在り方を考え、丁寧な人間関係を築くことの大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 グループ対抗のクイズゲームを行う。 ・HIVウイルスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「○×式」や四択式で正解を競わせる。                              ※この際、事前のアンケートで正解率の高かった質問から徐々に正解率の低かった質問へと移行する。</li> <li>○ 真剣で活発なグループ活動をさせ、本時の学習のねらいが達成されるような配慮をすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント&lt;資料&gt;スライド No1～No15</li> <li>・○×用紙等</li> </ul>
展開	2 講義を行う。 ・リスクパーソナライゼーションについて (個人に応じた誰にでもある危険性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の性感染症や人工妊娠中絶の情報、性的ネットワークの概念を伝える。また、クラミジアとその合併症及び人工妊娠中絶についても詳しく説明する。</li> <li>○ 情報が多すぎて印象が薄れるのを防ぐため、性感染症の説明はクラミジアにとどめる。それ以上の説明はWYSHの携帯サイトを紹介する。</li> <li>○ コンドームの有効性には簡単に触れるが、実物を見せたり装着の実演は行わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント&lt;資料&gt;スライド No16～50</li> </ul>

展開	3 グループワークを行う。 ＜テーマ例＞ ・「予防方法を考えよう」 ・「私の夢」 など	○ あるテーマを与え、グループで討 討議し発表させる。 ○ 将来を見据えた夢のある討議を させる。	・ 独自に制作 したビデオ等
	4 人間関係に関するビデオを鑑賞す る。 ・「人と人とのつながり」	○ 様々な人間関係の様子を伝える るために独自に作成したビデオを 上映する。 ○ ビデオに使う写真は、生徒の生活 の一部分や、生徒を取り巻く人々の 1コマを採用し、実生活に近づけさ せる。 ○ ビデオに使う挿入句は、「人」「人 と人」「時の流れ」「いつでも一緒」 「手をつないで」などシンプルなも のを採用する。 ○ ビデオの最後の挿入句は、メッセ ージ性のあるものを使い生徒に共 感させる。	
終末	5 学習のまとめをする。 ・教師からのメッセージを伝える。	○ 誰もが皆、それぞれにすばらしい 存在であることや、命の尊さを感じ とらせる。	・ 感想文用紙 等

#### 4 他の教育活動との関連

- 人の一生と家族・家庭（家庭総合）

#### 5 授業の配慮事項

- パワーポイントでの講義は、世界から身近な情報へと導き、生徒たちが「他人事ではない」という意識をもてるようにする。
- グループワークでは、生徒たちの身近にある問題を取り上げる。その上で、個人が自由に意見を発表し、また仲間の意見を真剣な態度で聞くことができるようにする。
- 人間関係に関するVTRは、各学校で身近な材料をもとに制作することが望ましい。
- 単なる知識を伝えるのではなく、これからの生き方や人間関係の在り方について考えさせる。

#### 〈WYSH教育とは〉

「Well-being of Youth in Social Happiness」の略で若者の真の幸せ（Happiness）を最終ゴールとするプロジェクトであり、京都大学 木原雅子准教授により提唱されています。

- ① 取り組み前後の調査に基づいて、各校の児童生徒の発達段階に応じた内容を開発し、かつ効果を評価する科学的プロジェクトであること。
- ② 技術教育ではなく、『人間関係の回復』を目指すため、「性に関する教育」だけでなく、子どもの問題に関する他の教育にも応用可能であること。

を特徴としています。

また、メインメッセージとして

「希望に向かって凜として生きて欲しい」ということ

サブメッセージとして

「誰にでもリスクがある」（危機管理教育）ということ

「時間をかけて丁寧な人間関係を築いて欲しい」（人間基礎教育）ということ子どもたちに伝えることとしています。

活用教材「人と人とのつながり」はWYSH教育を進める際の効果的な活用教材であり、生徒に自分の生き方について考えさせるメッセージ性のあるビデオを自校で作成することで、さらに効果が高まります。

高等学校 LHR	題材名  デートDV～WYSH教育より～
-------------	----------------------------

1 題材について

近年、社会の急激な変化や情報化社会の進展、価値観の多様化などにより、よりよい人間関係を築くことができない人が多くなってきている。その中で子どもや高齢者に対する虐待やドメスティックバイオレンスなどの事件が新聞やテレビで報道されることが多くなった。

このようなことから、高校生の時期の男女交際の在り方や、一人の人間として他人や異性とのような関わりをもつことが望ましいか、より深く考えさせる事は極めて大切である。

そこで、DVやデートDVが決して他人事ではなく男女交際のリスクの一つであることを理解させ、男女間のよりよい人間関係を築くことができる生徒を育成することは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 親密な関係の中で起きるDVには、身体的・性的・経済的、精神的暴力等があることを理解することができる。
- 男女交際におけるデートDVの実態とその対処方法（相談方法）を理解することができる。
- 固定的な性役割・性観念がDVの原因や助長の要因になっていることを理解し、よりよい男女の人間関係を築くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 6～8人のグループを作り、デートDVについての説明を聞く。 ・DV、デートDVについて（身体的、性的、経済的、精神的暴力があること等）	○ 「ドメスティックバイオレンス（DV）は、夫婦や恋人のような親密な関係で起こる一方的な支配・暴力である」ことを理解させる。 ○ 特別な人に限ったことではないことを理解させる。	
展開	2 資料1の事例についてグループで話し合う。 ・Aさん、B君に対する感想  ・友だちから同じような相談を受けたときの言葉かけ  3 資料3をもとに、DVに対する正しい理解について学習する。 ・DVの相談に対する対応の例 ・DVの種類	○ Aさん、B君についてどう思うかそれぞれの意見を交換させる。 ○ 自分たちの身近でも十分に考えられる事例である（他人事ではない）ことを押さえる。 ○ 似たような相談を受けたときの言葉かけについてグループで話し合わせワークシートにまとめさせる。  ○ 友達からDVの相談を受けたときに、どんな対応をするか、DVにはどのような種類があるかについて確認させる。	・こんなことありませんか？ <資料1>  ・WYSH学習「デートDV」ワークシート <資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・DV発生の要因等について考える。	○ 要因として固定的な性観念等も考えられることを押さえるとともに、男女間の正しい人間関係について時間をかけて築くことの大切さについて理解させ、実践を促す。	・DVに対する正しい理解 <資料3>

4 他の教育活動との関連

- 生涯を通じる健康（保健体育）
- 人の一生と家族・家庭及び福祉（家庭総合）

5 授業の配慮事項

- グループ活動が多いので、各学校や各年・学級等の実態に応じたグルーピングをする。
- 最後の教師によるメッセージは、生徒達が目標を達成するためのやる気や元気につながるものにする。

<資料1>

## こんなことはありませんか？ デートDVの例

いつもはやさしいのに、気に入らないと暴力をふるうカレシ

### Aさんの場合

いつもはやさしいカレシ。でも、最近、気に入らないことがあるとすぐ怒り出すようになった。不機嫌になって無視したり、「バカじゃね〜の」って怒鳴ったり…。

時には、「ウザいんだよ」って私の足をけったりする。この前、デートに遅れたことで、私の手をつかんで殴りかかっていたときには、ホントに怖くてヒザがガクガクだった。

でも、後で「ごめんね。」って。カレシを怒らせている私が悪いのかな…。 (T\_T)

どこで何をしているのかいつも確認するカノジョ

### B君の場合

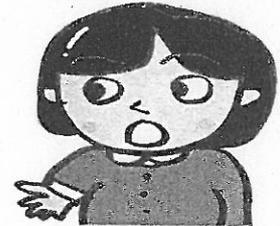
カノジョのことはかわいいし大事にしたいと思ってる。

「いつも一緒にいないとイヤ」と言われて毎日一緒に帰るのに「今どこ？何してるの？」ってメールや電話が毎日何度も何度も来る…。最近では、男の友達との付き合いもチェックしてくるし、しまいには「私と友達のどっちが大事なの？」って。

カノジョに監視されているみたいで好きなことができなくなった…。 (>\_<)

<資料2>

WYSH 学習 「デートDV」ワークシート  
グループで次のことについて、話し合ってみよう。



(1) Aさん、B君をどう思いますか？

(2) 友達から似たような相談を受けたら、どんな言葉をかけますか？

<資料3> DVに対する正しい理解

## 1 DVの相談に対する対応の例

- ① 友だちの話は時間をかけて、じっくり聞きましょう。
- ② 友達の考え、気持ち、立場を理解し、友達を批判したり、責めたりしないようにしましょう。
- ③ 「あなたを信じている」と言ってあげましょう。
- ④ 「あなたの責任ではない」と何度も言ってあげましょう。
- ⑤ 「あなたがそんな目にあっているはずがない」と言ってあげましょう。
- ⑥ 友達から聞いた話を他の人に言わないようにしましょう。うわさが広まることで、友達ももっと危険な目に遭うあうかもしれません。
- ⑦ あなたが解決してあげようと思わないで下さい。考えやアドバイスを押し付けないことです。
- ⑧ 自分で決められるように支えてあげましょう。自分が決めない限りうまくいきません。
- ⑨ サポートを広げるように励ましましょう。例えば友達が両親や先生、信頼できる大人に話せるように支えてあげましょう。

★ 大人や相談機関に相談してみるようにすすめましょう。

## 2 DVの種類

暴力の種類にはいろいろあります。体への暴力だけが暴力ではありません。DVは単なる暴力ではなく、親密な相手を思い通りに動かすために、複合的に使われるあらゆる種類の暴力を指します。DVとは、相手を怖がらせたり傷つけたりして、自分の思い通りに動かそうとするすべての態度・行動のことです。

### 【身体的暴力】

- 物を投げる。かみつく。つかんでゆする。監禁する。たたく。蹴る。髪の毛をつかんで引っ張る。首を絞める。やけどをさせる（たばこを押しつける）等

### 【性的な暴力】

- 性行為を無理強いする。性行為に応じないと不機嫌になる。ポルノ等を無理やり見せる。避妊に協力しない。

### 【経済的な暴力】

- お金を払わせる。貢がせる。借りたお金を返さない。

### 【精神的な暴力】

- ばかにしたことばを言う。繰り返し批判したり否定的な言葉を言う。メールや電話を頻繁に要求する。メールを勝手にチェックする。無視する。にらみつける。「別れる」「自殺する」「死ね」等と言ったり、秘密をばらすと言ったりして脅す。

★ 体への暴力がないからたいしたことがないと思うのは間違いです。

ステージ


**WYSH学習が始まります。**

座って静かに待ちましょう。

## WYSH学習

**W** ell-being of  
**Y** outh in  
**S** ocial  
**H** appiness

若者の真の  
幸福を願う  
プロジェクト

○×クイズ ①

**HIVウイルスは感染者の  
血液中に存在する。**

○

×

○

## エイズの感染経路

- 性的接触
- 血液感染
- 母子感染

## ○×クイズ ②

HIVは感染力の強いウイルスである



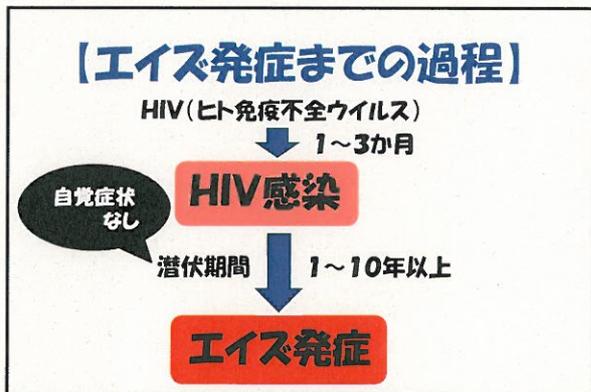
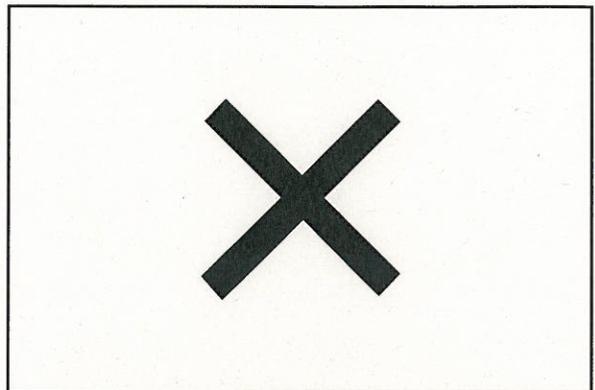
こんなことでは感染しません



- ・握手
- ・温泉やプール
- ・普段の学校生活
- ・咳・くしゃみ・汗等
- ・トイレ

## ○×クイズ ③

HIV感染者 = エイズ患者  
である



**本当のことを知っていますか？**  
—HIV感染・エイズ・性感染症について—

木原 雅子

京都大学大学院医学研究科社会医学分科 助教授  
京都大学国連合同エイズ計画共同センター長

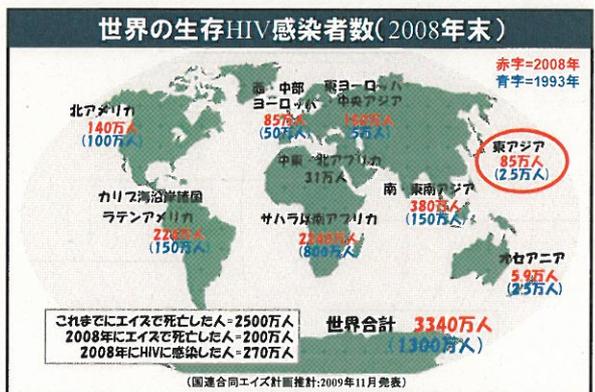
UNAIDS

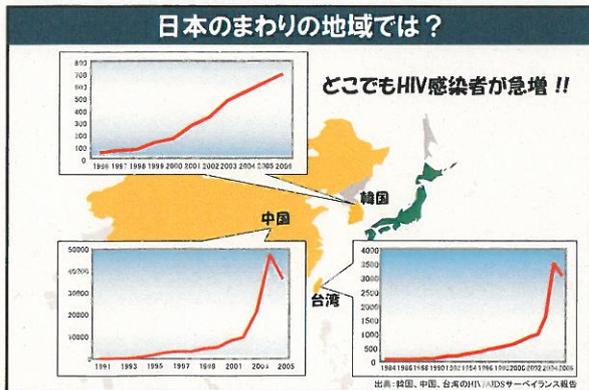
**質問 その①**

世界のエイズの流行は、  
どうなっているか？

りゅうこう

世界エイズデー





### 質問 その②

じゃあ、私達の住んでいる  
日本はどうなってるのか？



### 質問 その③

では、性関係でおこる問題は、  
HIV感染だけか？



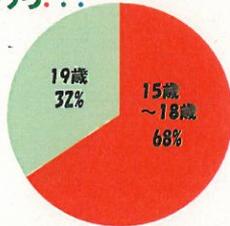
### 質問 その④

じゃあ、  
自分が住んでる  
宮崎はどうか・・・？

宮崎県の10代の中絶者中の15歳-18歳の割合(2008年)

宮崎県ではなんと2008年に

**273人**の10代女性が中絶!!  
そして、そのうち...



出典: 母子健康のまなび

質問 その⑤

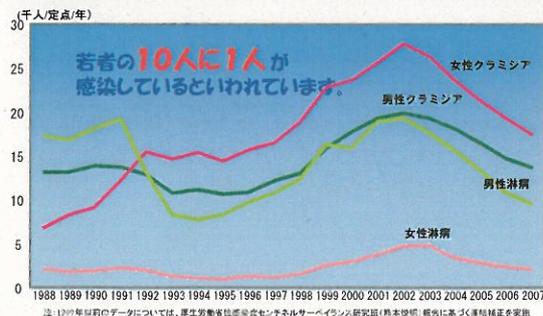
ところで、  
人工妊娠中絶とは  
どういうことか……??

Video  
(中絶)

質問 その⑥

では、性関係でおこる問題は、  
HIV感染と中絶だけか??

日本の性感染症の動向



質問 その⑦

性感染症には、  
他にはどのようなものか  
あるか……?

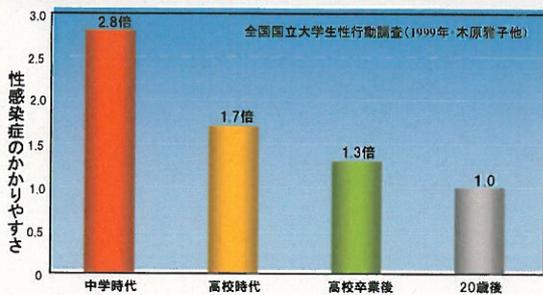
性行為でうつる主な病気(性感染症=性病)

- ★ クラミジア
- ★ 淋病
- ★ 性器ヘルペス
- ★ 梅毒
- ★ 尖圭コンジローム
- ★ B型肝炎
- ★ エイズ

質問 その⑧

どんな人が  
かかりやすいのか？

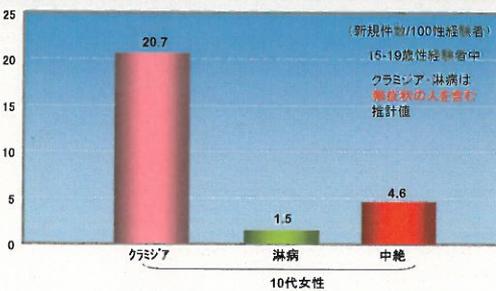
はじめての性行為の時期と性感染症のかかりやすさ



質問 その⑨

“中絶”と“性感染症”では  
どちらが身近に  
起こっているのでしょうか？

性感染症/中絶の推定年間発生数(2002年)



\*1. 平成14年10月3日現在推計人口(総務省統計局)。\*2. 社団法人全国高等学校PTA連合会「全国高校生調査」。  
\*3. \*2より統計的に外推。\*4. 厚生労働省STDサーベイランス調査推計値。\*5. 平成15年度母平保健の主な統計

質問 その⑩

性感染症の中で特に  
はやっているのは？

## 性感染症の中で特にはやっているのは？

●最近、若い人たちの間で、  
性感染症が流行していますが、  
特にはやっているのは、  
**クラミジア**という病気です。

では、クラミジアが  
どういう病気か見てみましょう！

## Video (クラミジア)

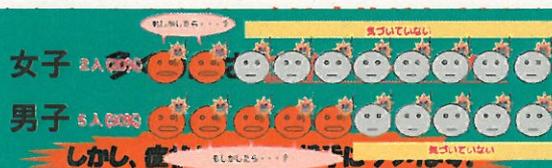
### 質問 その①

ここでもう一度、クラミジアに  
ついてまとめと追加…

★ 症状はどれくらいに出るの？

\*注：淋病で起こる問題はクラミジアとほとんど同じです。

### 性感染症にかかったらわかるか？



### 男子がクラミジアにかかるとどうなるか？

1. 尿道炎(排尿痛・排尿違和感)
2. 副睾丸炎(はれて痛い)
3. 慢性前立腺炎
4. エイスにかかりやすくなる



**ほおっておくと大変！**

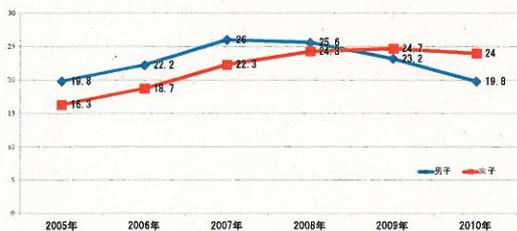
Q

ここで、みなさんにお聞きします

●みなさん自身が、将来、性感染症にかかる  
可能性があると思いますか？

1. あると思う
2. ないと思う

自分が性感染症に感染する可能性がある  
と考える高校生の推移: 2005~2010)



相手が1人ならどう?



決まった1人の相手だけなら  
性感染症やエイズの  
心配はないと思うけど……?

決まった一人の相手でも……?

性感染症にかかった国立大学生の相手は

性感染症にかかった国立大学生の半分以上  
は決まった一人の相手から感染しています。

46%

54%

性関係を持ったら  
誰でも危険!

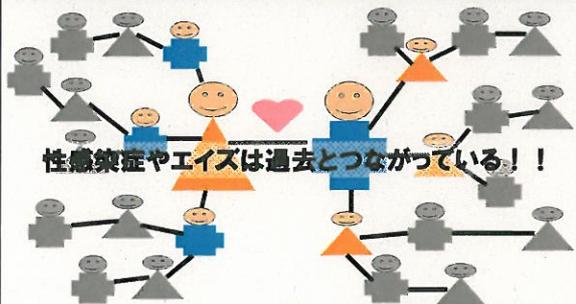
全国国立大学生性行動調査(1999年・木原裕子他)

誰にでもリスクがある!

元彼の元カノの元彼  
を  
知っていますか?



なぜ特定の相手から感染するのか……?



質問 その⑫

????  
????  
????  
じゃあ、????  
どうしたらいいの?  
????  
????  
????



あなたの大切な未来のために……

ゆっくりと時間をかけて  
人間関係を築いて下さい!!!



特別支援学校 小学部 高学年	題材名	異性とののぞましい関わり方
-------------------	-----	---------------

1 題材について

小学部高学年になると、二次性徴の発現に伴って、体の成長と共に、心にも変化が現れ、異性に対する関心が高まってくる。児童の中には、感情の赴くままに関心のある異性の体に触れようとしたり、近づこうとしたりする場合があり、むやみに人の体に触れたり、意味もなく他の人に近づこうとしたりすることはよくないことであることを理解させ、社会的規範をふまえた行動について指導する必要がある。

そこで、この時期は、体とともに心も成長しており、異性に対する関心の高まりは自然なことであることを理解させるとともに、異性の嫌がる行動等について気付かせ、適切な行動がとれるようになることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 心の成長に気づき、異性との望ましい関わり方について理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 本時の学習の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容を明確に示し、見通しをもたせる。</li> <li>○ 「体の成長」について学習したことを想起させ、今回は「心の成長」について学習することを確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクター</li> </ul>
展開	2 心の成長について考える。 ・男女で手をつないだ時の気持ち（どきどきする うれしい等）  3 ビデオ等を見て、異性との望ましい関わり方について考える。 ・友達が嫌がること ・仲良くするためのきまり  4 ロールプレイをして、抱きつかれた時など嫌な時に、拒否する練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的な場面を提示し、思い出させる。</li> <li>○ このような気持ちは心の成長に伴う自然な現象であること、個人差があること等について知らせる。</li> <li>○ ビデオ等で、体に触られて嫌がる場面を見せるなどして、相手の気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 自分たちの日常生活を振り返らせ、同じ経験をしたことがなかったか考えさせる。</li> <li>○ 相手を思いやる気持ちの大切さに気付かせる。</li> <li>○ 嫌なことをする役は教師が行う。</li> <li>○ 大きな声を出す練習をさせる。</li> <li>○ 手ではらいのける練習をさせる。</li> <li>○ 自分の大切な心と体を自分で守ろうとする気持ちをもつことの大切さを知らせる。</li> <li>○ 悩み事があったら信頼できる大人に相談することを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される気持ちのカード</li> <li>・ビデオ等</li> <li>・ロールプレイシナリオ &lt;資料&gt;</li> </ul>
終末	5 学習のまとめをする。 ・異性との関わり方について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 異性との関わり方のポイントや、自分がされて嫌なことは友達にもしないことについて確認させ実践化を促す。</li> </ul>	

1 拒否できない例

- 男の子 : 女の子に近づく。  
女の子の髪の毛をにおう。  
女の子 : ちょっと嫌な顔をする。  
男の子 : 話しかけながら、髪の毛をさわる。  
: 抱きつこうとする。  
女の子 : 嫌な顔はするが抵抗しない。  
他の児童 : 嫌がっているから、やめるよう言う。  
男の子 : 女の子から離れる。

2 拒否する例

- 男の子 : 女の子に近づく。  
女の子の髪の毛をにおう。  
女の子 : ちょっと嫌な顔をする。  
男の子 : 話しかけながら、髪の毛をさわる。  
女の子 : 「やめて」と言う。  
男の子 : 抱きつこうとする。  
女の子 : 大きな声で「やめて」と言い、手ではらいのける。  
男の子 : 女の子から離れる。

3 馴れ馴れしすぎる例

- 女の子 : 女の子が、大好きな男の先生に近づく。  
「せんせい、かっこいい」と言って抱きつく。  
男の先生 : 嫌な顔をして「男の人に抱きついてはいけません」と言って拒否する。

4 馴れ馴れしすぎる男女の例

- 女の子 : 本を読んでいる男の子に近づく。  
男の子に「私にも本を見せて」と言って横に座る。  
男の子と腕を組みながら本を見る。  
男の子の顔に自分の顔を近づけて本を見る。  
他の児童 : 2人にやめるよう言う。  
女の子 : 男の子から離れる。

5 親切にする例 (困っている時助ける等)

- 女の子 : たくさん物を運んでいる。落としそうになる。  
男の子 : 近くを通りかかり「運んであげようか?」と言って物を分け一緒に運ぶ。  
女の子 : 「ありがとう」  
男の子 : 「どういたしまして」

特別支援学校 高等部	題材名  <b>好きな人ができたら</b>
---------------	-----------------------------

1 題材について

思春期を迎えると、高等部の生徒達は、身体の性的成熟に伴い男女交際への憧れや異性への興味、関心が高まり、心身の発育・発達に個人差に対する不安や疑問も生じてくる。しかし、自分の感情や行動をコントロールしたり周囲の人達に適切に対処したりする力が十分に育っていないことによる、対人関係のトラブルや性的問題も懸念される。

障がいのある児童生徒においても、障がいのない児童生徒同様、障がいの程度や状態に応じて、コミュニケーション能力を身に付けさせたり、社会的自立を促したりすることは重要である。

そこで、変化する自分の心と身体に向き合い、理解を深めるとともに、交際のマナーを身に付け、適切な人間関係を築くことができるよう支援していくことが重要と考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性への関心の高まりや感情の変化は、思春期の自然な心の働きであることを理解し、相手を尊重して接することや、性的欲求の高まりに適切に対処し、責任ある行動を選択すること等の大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	障がい種に応じた資料・準備
導入	1 本時の学習内容を知る	○ 学習内容を明確に提示し、見通しをもたせる。	・パソコン ・プロジェクター
展開	<p>2 「好き」という気持ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人が「好き」か</li> <li>・「好き」とはどんな気持ちか</li> </ul> <p>3 相手の気持ちを考えて行動することの大切さについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「好きな人」に何をしてあげたいか</li> <li>・「好きな人」に何をしてもらいたいか</li> </ul> <p>4 交際のマナーについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな人と仲よくするためのマナーについて</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の嫌がることをしない。</li> <li>○自分を大切にする。</li> <li>○周りの人たちにいやな思いをさせない。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートに自分の気持ちを書かせる。</li> <li>○ 「好き」という気持ちは「相手を大切にしたい気持ち」であることに気付かせる。</li> <li>○ これから大人に向かう途中であり、「好き」という気持ちや、異性に興味がわくことは自然なことであるということを理解させる。</li> <li>○ ワークシートに自分の気持ちを書かせる。</li> <li>○ 相手の嫌がることを無理強いしてはいけないことを理解させる。</li> <li>○ 「相手の嫌がること」「周りの人たちに嫌な思いをさせないこと」については、具体的な事例をあげ理解させる。 (例) 抱きつく・腕を引っぱる等</li> <li>○ 自分の思いどおりにならない時もあることを理解させる。</li> <li>○ 困ったら信頼できる大人に相談することを押さえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート &lt;資料1&gt;</li> </ul>
終末	5 学習のまとめをする。	○ ポイントを再確認し、まとめとする。	

<資料1> 「好きな人ができたら」ワークシート

1 あなたはどんな人が好きですか？

2 「好き」とはどんな気持ちですか？好きな人のことを思い浮かべると、  
どう感じますか？

3 あなたは「好きな人」に何をしてもらいたいですか？

4 あなたは「好きな人」に何をしてあげたいですか？

< <sup>す</sup>好きな人<sup>ひと</sup>となかよくするために<sup>だいじ</sup>大事なこと >

- ① <sup>あいて</sup>相手のいやがることをしない
- ② <sup>じぶん</sup>自分を<sup>たいせつ</sup>大切にする
- ③ <sup>まわ</sup>周りの人たちに<sup>ひと</sup>イヤな<sup>いや</sup>思いを<sup>おも</sup>させない



※ <sup>ふあん</sup>不安な<sup>とき</sup>時、<sup>こま</sup>困った<sup>とき</sup>時には<sup>しんらい</sup>信頼できる<sup>おとな</sup>大人に<sup>そうだん</sup>相談する。

## 学習指導要領における「性に関する教育」の関連内容

### 小学校

#### 〔 社 会 〕

〔第5学年〕 2 内容

(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

#### 〔 理 科 〕

〔第3学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 昆虫と植物

身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。

イ 植物の育ち方には一定の順序があり、その体は根、茎及び葉からできていること。

〔第4学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 人の体のつくりと運動

人や他の動物の体の動きを観察したり資料を活用したりして、骨や筋肉の動きを調べ、人の体のつくりと運動とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 人の体には骨と筋肉があること。

イ 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによること。

〔第5学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 植物の発芽、成長、結実

植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること。

ウ 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

(2) 動物の誕生

魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長についての考えをもつことができるようにする。

ア 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。

イ 魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていること。

ウ 人は、母体内で成長して生まれること。

〔第6学年〕 2 内容

〔B 生命・地球〕

(1) 人の体のつくりと働き

人や他の動物を観察したり資料を活用したりして、呼吸、消化、排出及び循環の働きを調べ、人や他の動物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。

ア 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること。

イ 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されること。

ウ 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること。

エ 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があること。

#### 〔 生 活 〕

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

(2) 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、

それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

- (9) 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

## 〔 家 庭 〕

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

### A 家庭生活と家族

- (1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。  
ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと。  
(2) 家庭生活と仕事について、次の事項を指導する。  
ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり自分の分担する仕事ができること。  
イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること。

## 〔 体 育 〕 保健

〔第3学年及び第4学年〕 2 内容

- (2) 体の発育・発達について理解できるようにする。  
ア 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。  
イ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。  
ウ 体をよりよく発育・発達させるには、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

- (1) 心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。  
ア 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。  
イ 心と体は、相互に影響し合うこと。  
ウ 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

## 〔 道 徳 〕

〔第1学年及び第2学年〕 2 内容

- 主として自分自身に関すること。  
(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。(節度・節制、自立)
- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 友達と仲よくし、助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。(家族愛)

〔第3学年及び第4学年〕 2 内容

- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。(家族愛)

〔第5学年及び第6学年〕 2 内容

- 主として他の人とのかかわりに関すること。  
(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。(友情・信頼、助け合い)
- 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。  
(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。(生命尊重)
- 主として集団や社会とのかかわりに関すること。  
(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし正義の実現に努める。

(公正・公平、正義)

(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。(家族愛)

### 〔 特別活動 〕

#### 学級活動 2 内容

〔第1学年及び第2学年〕

学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第3学年及び第4学年〕

学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第5学年及び第6学年〕

学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。

〔共通事項〕

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

#### 学校行事 2 内容

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵(かん)養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

## 中学校

### 〔 理科 〕 第2分野 2 内容

(3) 動物の生活と生物の変遷

生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解させる。また、動物などについての観察、実験を通して、動物の体のつくりと働きを理解させ、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解させる。

ア 生物と細胞

(ア) 生物と細胞

イ 動物の体のつくりと働き

(ア) 生命を維持する働き

(5) 生命の連続性

身近な生物についての観察、実験を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解させるとともに、生命の連続性について認識を深める。

ア 生物の成長と殖え方

(ア) 細胞分裂と生物の成長

(イ) 生物の殖え方

イ 遺伝の規則性と遺伝子

(ア) 遺伝の規則性と遺伝子

### 〔 保健体育 〕 保健分野 2 内容

(1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。

ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時節やその程度には、個人差があること。

イ 思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。

(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

### 〔 技術・家庭 〕 家庭分野 2 内容

A 家族・家庭と子どもの成長

(1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。

ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。

(2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。

ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。

イ これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち家族関係をよりよくする方法を考えること。

## 〔 道 徳 〕 2 内容

1 主として自分自身に関すること。

(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。(望ましい生活習慣、健康、節度)

2 主として他の人とのかかわりに関すること。

(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。(人間愛、思いやり)

(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。(男女の敬愛)

(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。(自他の尊重、謙虚、広い心)

3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。

(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。(生命の尊重)

(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることの喜びを見いだすように努める。(自他の弱さの克服、人間の気高さ生きる喜び)

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。

(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

(公德心、社会連帯、よりよい社会の実現)

(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

(正義、公正・公平、差別や偏見のない社会の実現)

(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

(家族愛)

## 〔 特別活動 〕

### 学級活動 2 内容

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 思春期の不安や悩みとその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

エ 男女相互の理解と協力

オ 望ましい人間関係の確立

キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

ク 性的な発達への適応

### 学校行事

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと。

## 高等学校

### 〔 公 民 〕

〔現代社会〕 2 内容

(2) 現代社会と人間としての在り方生き方

現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。

ア 青年期と自己の形成

ウ 個人の尊重と法の支配

〔倫理〕 2 内容

(3) 現代と倫理

現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方

について自覚を深めさせる。

ア 現代に生きる人間の倫理

## 〔理科〕

### 第6 生物基礎 2 内容

#### (1) 生物と遺伝子

生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。

ア 生物の特徴

イ 遺伝子とその働き

ウ 生物と遺伝子に関する探求活動

### 第7 生物 2 内容

#### (1) 生命現象と物質

生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解させ、生命現象を分子レベルでとらえさせる。

ア 細胞と分子

ウ 遺伝情報とその発現

エ 生命現象と物質に関する探求活動

#### (2) 生殖と発生

生物の生殖や発生について観察、実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解させる。

ア 有性生殖

イ 動物の発生

ウ 植物の発生

エ 生殖と発生に関する探求活動

## 〔保健体育〕保健 2 内容

### (1) 現代社会と健康

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。

ア 健康の考え方

イ 健康の保持増進と疾病の予防

ウ 精神の健康

### (2) 生涯を通じる健康

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

ア 生涯の各段階における健康

イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

ウ 様々な保健活動や対策

## 〔家庭〕

### 第2 家庭総合

#### 2 内容

#### (1) 人の一生と家族・家庭

人の一生を生涯発達の支援でとらえ、青年期の生き方を考えさせるとともに、家族・家庭の意義や家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させ、男女が協力して家庭を築くことの重要性について認識させる。

ア 人の一生と青年期の自立

イ 家族・家庭と社会

## 主な性感染症

疾病名	病原体	感染経路	症 状	妊娠や胎児への影響	検査	治療
梅毒	梅毒トレポネーマ	性行為感染、母子感染 第1期と第2期では、粘膜など病気の部分に病原体が多量に含まれているため、他の人に感染させる可能性が高い。 第3期と第4期では感染性は下がる。	感染した場所（性器や口）にできもの、潰瘍ができる。（第1期） その後、全身にブツブツや発疹が現れる。（第2期） さらに皮膚や内臓で静かに進行し（第3期）、神経症状や心臓・血管症状が現れる。（第4期）	胎盤を通して胎児に感染する。	梅毒トレポネーマの検出、血液検査	抗菌薬
淋菌感染症	淋菌	性行為感染、母子感染 菌は、喉、直腸、尿にも出るので、口、肛門、尿を使った性行為も危険	男性：排尿時痛と膿尿 女性：症状が軽く気がつかないことも多い。	不妊の原因となることがある。 母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、淋菌性結膜炎を起こし、失明することがある。	尿や分泌物の検査（培養検査、遺伝子学的検査）	抗菌薬
性器クラミジア	クラミジアトラコマティス	性行為感染、母子感染 菌は、喉、直腸、尿にも出るので、口、肛門、尿を使った性行為も危険	男性：排尿時痛や尿道掻痒感 女性：症状が軽く気が付かない事が多い。	不妊の原因となることがある。 妊婦が感染すると、流産・早産の原因になることがある。 母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、結膜炎や肺炎を発症させる。	尿や分泌物の検査（培養検査、遺伝子学的検査）	抗菌薬
性器ヘルペス	ヘルペスウイルス	性器、口、口唇周囲、肛門などから感染する。	性器の水ぶくれ（水疱）や潰瘍ができる。	妊娠中は再発しやすくなる。 母親が出産時に発症していると、新生児に致命的な感染を引き起こすことがある。	水ぶくれの一部をこすった検査、血液検査	抗ウイルス薬
尖圭コンジローマ	ヒト乳頭腫ウイルス	ウイルスはイボの中に多く、皮膚や粘膜の微小な傷から侵入する。	外陰部、肛門や膣内などに鶏冠様のイボができる。	母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、尖圭コンジローマや喉頭乳頭腫を発症させることがある。	特徴的なイボを確認	外科的切除、薬物塗布、など
膣トリコモナス症	膣トリコモナス原虫	性行為感染、まれにタオル、下着、シーツを介して感染	男性：自覚症状のない事が多い。 まれに前立腺炎を起こすことがある。 女性：悪臭のするおりもの	妊娠中に感染すると早産になることがある。	分泌物の検査（顕微鏡的検査、培養検査、遺伝子学的検査）	抗原虫剤
性器カンジダ症	カンジダの真菌	感染経路は様々。常在菌として持っていたものが増殖する場合、性行為で感染する場合がある。	男性：無症状または掻痒感 女性：外陰部の掻痒感と白色のおりもの		分泌物の検査（顕微鏡的検査、培養検査）	抗真菌剤（クリームや錠剤）
（エイズ） 後天性免疫不全症候群	HIVウイルス	性行為感染・母子感染 注射器の回し打ち等	はじめはほとんど無症状。抵抗力が落ちてくると、発熱、下痢、倦怠感、体重減少などいろいろな症状が出る。病気が進行すると、カリニ肺炎、HIV脳症、カポジ肉腫などの合併症も現れる。	医師の指示の下に治療を行えば、ほぼ母子感染を防ぐことができる。	血液検査	抗HIV薬

## 相 談 窓 口 一 覧

### 県内各警察署の「ヤングテレホンコーナー」

迷わず 悩まず まず相談



宮崎県警察本部	0985-23-7867	宮崎北警察署	0985-28-7874
宮崎南警察署	0985-51-7373	日南警察署	0987-23-0399
串間警察署	0987-72-5552	都城警察署	0986-23-7874
小林警察署	0984-22-3741	えびの警察署	0984-33-5552
高岡警察署	0985-82-3749	西都警察署	0983-42-1110
高鍋警察署	0983-23-3741	日向警察署	0982-53-6860
延岡警察署	0982-21-7874	高千穂警察署	0982-72-6220

警察本部のみ午前9時から午後5時45分まで（その他の警察署では毎日24時間対応）

### 県教育委員会の相談窓口

ひとりで悩んでいませんか？

（対象：児童生徒、保護者、教職員、県民）

ふれあいコール （教育研修センター内）	0985-38-7654 0985-31-5562 月曜日～金曜日（祝祭日は休み）朝8時30分から夜9時まで
チャイルドラインみやざき	0120-0840-57（無料電話） 毎週土曜日（昼3時から夜9時まで） 毎月第1・第2日曜日（昼3時から夜9時まで）
ネットいじめ目安箱サイト （24時間対応）	携帯電話からは <a href="http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp/k/">http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp/k/</a> パソコンからは <a href="http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp/">http://meyasubako.miyazaki-c.ed.jp/</a>

目安箱サイトは「ネット上のいじめ等」に関する情報収集、相談窓口です

### 児童相談所（福祉子どもセンター）

児童福祉の専門機関です。子どもに関するあらゆる相談に応じ、指導助言を行います。

中央児童相談所	0985-26-1551	平日 8:30～17:15
都城児童相談所	0986-22-4294	
延岡児童相談所	0982-35-1700	
中央児童相談所相談専用電話 子ども、ほほえみダイヤル	0985-28-4152	毎日（通年）朝9時から夜24時まで

### 保 健 所 （エイズ、心、性、薬物乱用等に関する相談）

中央保健所	0985-28-2111	日南保健所	0987-23-3141
都城保健所	0986-23-4504	小林保健所	0984-23-3118
高鍋保健所	0983-22-1330	日向保健所	0982-52-5101
延岡保健所	0982-33-5373	高千穂保健所	0982-72-2168
宮崎市保健所	0985-29-4111		

### 鑑別所 保護観察所 （非行 交友関係に関する相談）

宮崎少年鑑別所 一般相談室	0985-27-5566	宮崎保護観察所	0985-24-4345
---------------	--------------	---------	--------------

**地方法務局**

( 人権・いじめ・体罰その他に関する相談 )

宮崎地方法務局（宮崎）	0985-22-5124	宮崎地方法務局（都城）	0986-22-0490
宮崎地方法務局（延岡）	0982-33-2179	宮崎地方法務局（日南）	0987-25-9125
宮崎地方法務局（日向）	0982-52-2944	子どもの人権110番	0120-007-110

**各市町村の青少年に関する相談窓口**



〔宮崎市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
青少年育成センター	0985-24-9149	学業、学友、いじめ、不登校	平日 8:30～17:00
なやむなテレホン	0985-22-7867	非行等の青少年に関する悩み	平日 8:30～20:00
心の談話室	0985-22-9674	いじめ、不登校、学業、交友等	平日 9:00～16:00
家庭児童相談室	0985-21-1766	養護、障がい、非行、育成	平日 8:30～17:15

〔都城市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
青少年育成センター	0986-23-2186	青少年問題に関する相談	平日 9:00～17:00
ウエルネスハートセンター	0986-25-8349	全 般	平日 9:00～16:00
教育相談室	0986-24-0055	教育・健康・家庭・非行・いじめ	平日 9:00～17:00

〔延岡市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
青少年育成センター	0982-32-4840	教育・家庭・非行・悩み・いじめ	平日 8:30～19:00 時間外は留守電
悩み相談フリーダイヤル	0120-783-904 0982-22-3535		
延岡市北方教育課	0982-47-3606	教育・家庭・非行・悩み・いじめ	平日 8:30～17:15
延岡市北浦教育課	0982-45-3040	教育・家庭・非行・悩み・いじめ	平日 8:30～17:15
延岡市家庭児童相談室	0982-22-7017	教育・健康・家庭・非行・いじめ	水曜日 9:00～12:00 平日 8:30～16:00
延岡市北川教育課	0982-46-2017	全 般	平日 8:30～17:15

〔日南市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
家庭児童相談室	0987-31-1174	家庭・非行・学校（不登校、いじめ）	平日 9:00～16:00

〔小林市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
家庭児童相談室	0984-23-4319	教育・健康・家庭・非行・悩み・いじめ等	平日 9:00～16:00
勤労青少年ホーム	0984-23-9653	職場の悩み等	平日 9:00～16:00

## 〔日向市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
青少年育成センター	0982-54-6255	非行・教育・いじめ、活動	火～金 9:00～16:00
家庭児童相談室	0982-52-2111	児童福祉の問題、心身障害、児童虐待、家族関係等	平日 9:00～16:00
青少年相談室	0982-54-8181	教育・非行・悩み・いじめ	火～金 9:00～16:00

## 〔串間市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
家庭児童相談室	0987-72-5783	家庭に関する相談	月～金 9:00～16:00

## 〔西都市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
青少年育成センター	0983-43-1616	教育・非行・悩み・いじめ	火～木 13:00～16:00
家庭児童相談室	0983-43-0376	家庭に関する相談	月～金 9:00～16:00

## 〔えびの市〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
えびの市家庭相談員	0984-35-1111	教育 家庭	月～金 9:00～16:00

## 〔北諸県郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
三股町教育相談事業	0986-52-1111	家庭・非行・いじめ	月～金 9:00～16:00

## 〔西諸県郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
高原町教育相談事業	0984-42-2111	全般	月水金 8:30～17:15

## 〔東諸県郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
国富町教育相談室	0985-75-3893	学校・家庭・不登校・悩み	月水金 9:00～16:00
綾町社会教育課	0985-77-1183	教育・家庭・非行・いじめ・悩み	平日 9:00～16:00

## 〔児湯郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
高鍋町教育委員会	0983-23-3326	教育・家庭・非行・悩み	平日 8:30～17:00
新富町教育委員会	0983-33-6080	全般	平日 8:30～17:15
木城町教育委員会	0983-32-2369	教育・家庭・非行・悩み・いじめ	平日 8:30～17:15

## 〔東臼杵郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
門川町教育研究所	0982-63-1566	教育・学校	火～木 9:00～16:00 金 9:00～12:00
門川町社会福祉協議会	0982-63-7210	全般	平日 9:00～16:00
椎葉村心配ごと相談所	0982-67-2275	全般	相談員毎月曜日10:00～15:00 その他 月～金8:30～17:30
美郷町教育委員会	0982-66-3608	全般	平日 8:30～17:15

〔西臼杵郡〕

相談窓口	電話番号	相談内容	受付時間
日之影町教育委員会	0982-87-3919	全 般	月～金 8:30～17:15
日之影町町民課	0982-87-3902		
五ヶ瀬町住民福祉課	0982-82-1702	全 般	月～金 8:30～17:15
五ヶ瀬町教育委員会	0982-82-1710		

**(財)性の健康医学財団**

**(性感染症についての相談等)**

性感染症	性感染症の情報と解説その他	<a href="http://www.jfshm.org/">http://www.jfshm.org/</a>
------	---------------	---

**エイズについて**

**( 最寄りの保健所でも相談することができます )**

専門の相談員が対応 (月～金: 10:00～13:00 14:00～17:00) 年末年始祝祭日除く

(財)エイズ予防財団	0120-177-812	(携帯からは) 03-5259-1815
エイズ予防情報ネット	<a href="http://api-net.jfap.or.jp">http://api-net.jfap.or.jp</a>	(携帯) <a href="http://api-net.jfap.or.jp/i">http://api-net.jfap.or.jp/i</a>

**フィルタリングについて**

**(フィルタリングを希望するときの相談先)**

NTTドコモ	安心ホットライン	0120-800-000
ソフトバンク	お客様センター	0800-919-0157
au	総合案内	0120-977-033

**そ の 他**

宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663
サイバー犯罪対策室(宮崎県警本部内)	0985-31-0110
警視庁総合相談センター(平日のみ 8:30～17:15)	「#9110」又は「03-3501-0110」
特定非営利活動法人 子ども虐待防止みやざきの会	0985-85-4641 木曜19:00～21:00
宮崎県警察本部のサイバー犯罪相談窓口	0985-26-9110
宮崎県警サイバー犯罪対策室HP	<a href="http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/high-tech/index.htm">http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/high-tech/index.htm</a>
宮崎県警相談窓口HP	<a href="http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/advice">http://www.pref.miyazaki.lg.jp/police/advice</a>
携帯電話のアクセス制限・迷惑メール等に関する相談	NTTドコモ0120-524-360
宮崎県消費生活センター	(ネットトラブル 架空の請求等) 0985-25-0999
男女共同参画センター(DVなどの相談)	0985-32-7591
(社)宮崎犯罪被害者支援センター	0985-38(みやざき)-7830(なやみなし)
迷惑メールに関する情報提供と相談	<a href="http://www.dekya.or.jp/soudan/jhan/">http://www.dekya.or.jp/soudan/jhan/</a>
相談窓口を自分で探すポータルページ(インターネットホットライン連絡協議会)	
<a href="http://www.iajapan.org/hotline/">http://www.iajapan.org/hotline/</a>	



## 「性に関する教育」参考資料編集委員

[平成22年度～平成23年度]

顧問

京 樂 由 佳	県福祉保健部健康増進課	主 幹 (平成22年度)
須 藤 章	県福祉保健部健康増進課	主 幹 (平成23年度)
柳 和 枝	宮崎市立木花小学校	校 長

委員

青 野 典 子	宮崎市立住吉小学校	養護教諭 (*平成22年度は小戸小学校)
水 俣 由 美	宮崎市立住吉小学校	教 諭
桑 田 尚 明	宮崎市立大宮小学校	教 諭 (平成22年度)
多 田 宏	宮崎市立大淀小学校	教 諭 (平成23年度)
赤 塚 悦 子	宮崎市立住吉中学校	養護教諭
肝 付 正 籍	宮崎市立宮崎西中学校	教 諭
石 原 秀 敏	綾町立綾中学校	教 諭
佐 多 陽 子	県立清武せいりゅう支援学校	教 諭
徳 増 隆 弘	県立宮崎西高等学校	教 諭
河 口 え り	県立宮崎北高等学校	養護教諭
吉 瀬 恵 子	宮崎県教育研修センター	指導主事 (平成22年度)
田 村 佳 子	宮崎県教育研修センター	指導主事 (平成23年度)

( 順不同 )

今回の「性に関する教育」参考資料は、平成19年度から2年間、下記の先生方の協力のもと行われた編集作業を経て発刊しています。

[平成19年度～平成20年度] (勤務校は当時)

委員

上別府 純 子	宮崎市立生目台西小学校	教 諭
荒 木 秀 一	宮崎市立櫛北小学校	教 諭
荒 木 玲 子	小林市立内山小学校	養護教諭
澤 村 忠 俊	都城市立山之口中学校	教 諭
三 谷 典 子	宮崎市立大淀中学校	教 諭
高 本 恵 子	延岡市立延岡中学校	養護教諭
猪 俣 米 美	延岡市立熊野江中学校	養護教諭
高 原 博	県立宮崎大宮高等学校	教 諭
鎌 田 美 華	県立宮崎西高等学校	教 諭
徳 永 邦 弘	県立延岡商業高等学校	教 諭
中 平 紫	県立門川高等学校	養護教諭
木 宮 崇 子	都城養護学校	教 諭
中 島 みさ子	児湯養護学校	教 諭
村 上 真 美	日南養護学校	養護教諭

[事務局]

宮崎県教育庁スポーツ振興課
課 長 田 村 司
主 幹 北 村 俊 二
指導主事 田 中 ちどり
指導主事 児 玉 善 彦
指導主事 木 下 文 秋
指導主事 丸 山 佳 子

## 〔引用 参考文献〕

- 小学校学習指導要領 (平成20年3月) 文部科学省
- 中学校学習指導要領 (平成20年3月) 文部科学省
- 高等学校学習指導要領 (平成21年3月) 文部科学省
- 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領・高等部学習指導要領 (平成21年3月) 文部科学省
- 中学校学習指導要領 解説 保健体育編 (平成20年9月) 文部科学省
- 中学校学習指導要領 解説 特別活動編 (平成20年9月) 文部科学省
- 高等学校学習指導要領 解説 保健体育編・体育編 (平成21年12月) 文部科学省
- 生徒指導提要 (平成22年3月) 文部科学省
- 学校保健の動向 (平成23年度 学校保健会)
- 中央教育審議会初等中等教育分科会 教育課程部会審議経過報告 (平成18年) 文部科学省
- WYSH学習プレゼンテーション「本当のこと知っていますか？」 京都大学 准教授 木原雅子
- 性教育指導マニュアル 愛媛県教育委員会 (平成19年3月)
- 性教育の手引き 熊本県教育委員会 (平成19年3月)
- 小学校性教育の手引き (改訂版) (平成6年2月) 宮崎県教育委員会
- 第二次宮崎県教育振興基本計画 (平成23年7月) 宮崎県教育委員会
- 初任者研修のための研修資料 (平成23年度) 宮崎県教育委員会

### 「性に関する教育」参考資料

平成24年3月

発行者

宮崎県教育庁スポーツ振興課

〒880-8502

宮崎市橋通東1丁目9番10号

TEL 0985-26-7249

FAX 0985-26-7339